

千葉県地方創生に係るアンケート
報告書

東日本電信電話株式会社

平成 27 年 8 月

目次

1. 調査概要
2. 調査結果の概要
3. 調査結果報告
 - 1) 対象者の属性等
 - 2) 進路に関する希望
 - 3) 就職に関する希望
 - 4) 将来の居住地に関する希望
 - 5) 千葉県の自慢
4. 調査結果報告（地域別比較）
 - 1) 対象者の属性等
 - 2) 進路に関する希望
 - 3) 就職に関する希望
 - 4) 将来の居住地に関する希望

1. 調査概要

- 本調査は、千葉県内の高校・大学・短期大学 34 校（下図表参照）の生徒を対象に実施致しました。
- 本調査の方式は、対象校の生徒に対してアンケート票を配布し、進路や就職、居住地に関する意識等を取りまとめました。
- 本調査の回答者の合計は 1,963 名でした。
内訳は、高校生 1,164 名、短大生・大学生 799 名です。
なお、回収したアンケートには、未記入のあった回答者も含まれています。
- 本調査の実施期間は、平成 27 年 7 月 3 日から 7 月 21 日の期間で実施しました。

＜図表 アンケートを配布した学校名及び回収人数＞

	学校名		学科名	学区	学年	回収人数
1	千葉	高等学校	普通科	1	2	41
2	千葉工業	高等学校	工業科（工業化学科）	1	2	39
3	千葉西	高等学校	普通科	1	2	40
4	八千代	高等学校	普通科	2	2	40
5	船橋	高等学校	普通科	2	2	42
6	市川工業	高等学校	工業科（建築科）	2	2	35
7	東葛飾	高等学校	普通科	3	2	40
8	清水	高等学校	工業科	3	2	38
9	我孫子東	高等学校	普通科	3	2	35
10	印旛明誠	高等学校	普通科	4	2	40
11	成田国際	高等学校	国際科	4	2	40
12	佐倉	高等学校	普通科	4	2	38
13	八街	高等学校	総合学科	4	2	37
14	佐原	高等学校	普通科	5	2	40
15	銚子商業	高等学校	商業科	5	2	40
16	匝瑳	高等学校	普通科	5	2	39
17	成東	高等学校	普通科	6	2	40
18	東金商業	高等学校	情報処理科	6	2	40
19	九十九里	高等学校	普通科	6	2	40
20	長生	高等学校	普通科	7	2	38
21	一宮商業	高等学校	情報処理科	7	2	40
22	大多喜	高等学校	普通科	7	2	37
23	大原	高等学校	普通科	7	2	36
24	長狭	高等学校	普通科	8	2	40
25	安房拓心	高等学校	総合学科	8	2	40
26	安房	高等学校	普通科	8	2	41
27	君津商業	高等学校	商業科	9	2	40
28	木更津	高等学校	普通科	9	2	40
29	君津青葉	高等学校	総合学科	9	3	28
30	京葉	高等学校	普通科	9	2	40
	県立高等学校（30校）小計					1,164
31	千葉敬愛	短期大学	現代子ども学科			237
32	和洋女子	大学	人文学群			292
33	千葉	大学	「地域再生学」受講学生			189
34	千葉工業	大学				81
	短期大学・大学（4校）小計					799
	合計					1,963

2. 調査結果の概要

ここでは調査結果の概要について述べます。調査結果は、高校生と短期大学生及び大学生（以下、「大学生等」とします。）それぞれの単純集計、男女別及び居住地別にクロス集計を行っています。（居住地は地域振興事務所の所管単位に加えて、千葉市及び市原市をそれぞれ個別に集計しています。）

まず、高校生の進路については、4年制大学への進学を希望する方が最も多く、全体の55.9%でした【P13】。その中で進学希望地域を見ると千葉県と東京都（23区及びその他地域の合算）がほぼ拮抗していました。男女別にみると4年制大学については男女とも希望者はほぼ同数となりましたが、女性は、短期大学や専門学校等進学を希望し、男性は就職を希望する方が多いという結果でした【P14】。

地域別には、4年制大学への進学希望は、東葛飾地区、千葉市、夷隅地区が高く、就職希望は君津、印旛地区が高い結果でした【P38】。なお、進学したい地域については、東葛飾地区、葛南地区、千葉市において千葉県内より東京都（23区内）の進学希望者が上回っており、この地区以外では千葉県内が最も希望者が多い結果となりました【P39】。

次に、就職に関する結果としては、希望職種については、高校生で、医療・福祉、教育を希望する方が多い一方で、具体的な職種まで希望を持っていない回答が全体の25.1%いました。なお、大学生等で、教育が最も多い結果でしたが、これは対象校の専攻や学部等によるものと考えます【P15・16】。

就職先の希望地域については、高校生では、千葉県内を希望する方が30.4%と最も多い一方で、こだわらない、わからないとする回答がそれぞれ21.8%となりました。また、大学生等では、千葉県内を希望する方が、44.9%という高い結果となりました。更に、千葉県内の中では高校生、大学生等ともに千葉市が最も人気が高くなりました【P17・18】。

就職を決める際の勤務地に対する考え方では、高校生・大学生等ともに、実家から通えるところや、地元・出身県で働きたいとの回答が多く、現在の居住地への定住意向は強い傾向にあると推察されます。一方で、高校生は、こだわらないとする回答も24.1%を占めています【P19・20】。

地域別に、就職の際に希望する勤務地を見ると高校生、大学生等ともに千葉市、東葛飾地区、また市原市と印旛地区（高校生のみ）、葛南地区（大学生等のみ）では東京都を希望する方が最も多く、それ以外では千葉県内を希望する方が多い結果となりました【P41・43】。勤務地を決める際の考え方は、特に高校生で、千葉市、葛南地区、安房地区が都心で働きたい、との回答が高い結果でした【P42】。

最後に将来の居住地に対する考え方では、千葉県に住みたい（とどまりたい）、との回答は高校生、大学生等ともに40%程度となりました【P21・22】。

千葉県に住みたいとの回答者のうち、高校生は半数近くの48.0%が県内であればどこでも良いと回答しており、大学生等では、62.7%が具体的に居住したい市町村を上げている結果となりました。なお、高校生、大学生等ともに、県内では千葉市の居住希望が最も多くなりました【P23】。

千葉県内を選ぶ理由としては、自宅があるから、住み慣れて土地勘があるから、などの回答が上位となり、特に大学生等では、家族の近くにいると便利だから、との回答も48.8%程度あり、より生活に根差した思いで定住を希望する方も多い結果でした【P24・25】。他方、県外に居住を希望する方では、高校生、大学生等ともに行先としては東京都が全体の50%程度となりました。居住地を選ぶ理由を見ると、特に高校生において、希望する職場や仕事の選択肢に対する意見が多く、幅広い仕事の選択肢や機会を求めている方が多いものと推察されます。なお、大学生等では県外の出身地に戻る、との回答が県外希望者の半数となっています【P26・28】。

今後、千葉県が居住地として選ばれるための改善点としては、高校生、大学生等、いずれも、希望する働き場所があること、都心へのアクセスが向上すること、地域におけるバス等の交通の利便性が向上することが、上位となりました。見解が分かれた点は、高校生は商業・レジャー施設が充実すること、大学生等では子育て環境を整備することが上位となっている点です【P30・32】。

地域別にみると、多くの地域で千葉県に住みたいとの回答が最も多く、いずれの回答者も具体的な居住地については現在の居住地を上げているケースがほとんどとなっており、千葉県或いは現在の地元市町村に対する定住意向の強さを感じることができず【P46・47】。

千葉県に対する定住意向は、高校生、大学生等ともに高いことがうかがえます。

高校生と大学生等とを比較した際の将来の居住地に対する考えなどから、大学進学の際に県外に出るケースが多く、逆に県内に残った場合にはその後も定住を続ける（或いは希望する）ケースが多い可能性が想定されます。

進学により県外に移住した方が戻ってくるためには、希望する働き場所の確保、或いは都心へのアクセスや交通等の利便性の向上などの対応が必要になると考えられます。

3. 調査結果報告

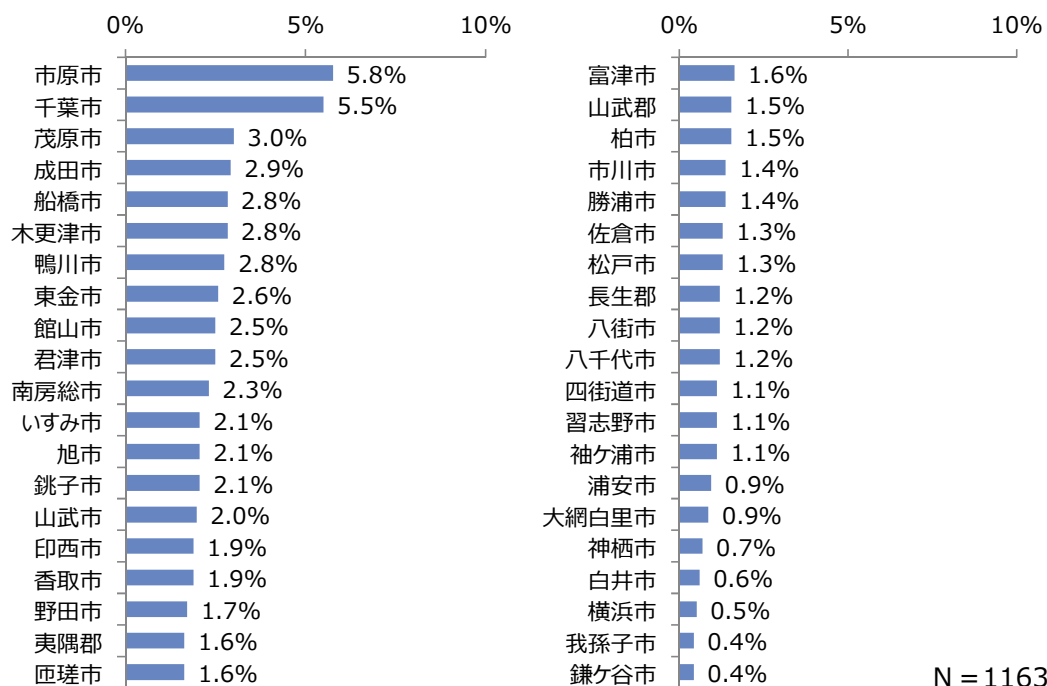
1) 回答者の属性等

① 回答者の出身地・居住地について

<出身地>

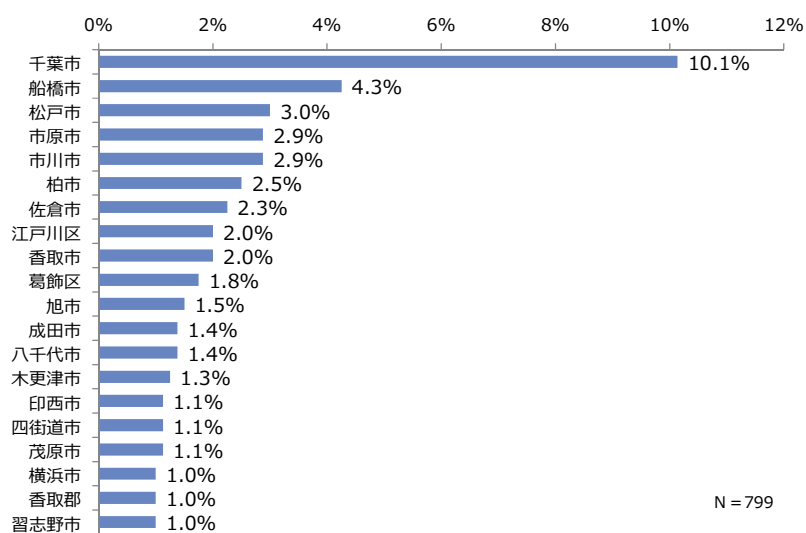
高校生では、市原市出身者が5.8%と最も多く、次いで千葉市出身者が5.5%でした。回答者の出身地域については大きな偏りはないものと考えられます。

<図表 高校生 出身地（上位40位）>



大学生等では、回答者の出身地については、千葉市が 10.1%と最も多く、次いで船橋市が 4.3%でした。アンケートを行った大学・短期大学の所在地によって回答者の出身地に若干の偏りがあったものと考えられます。

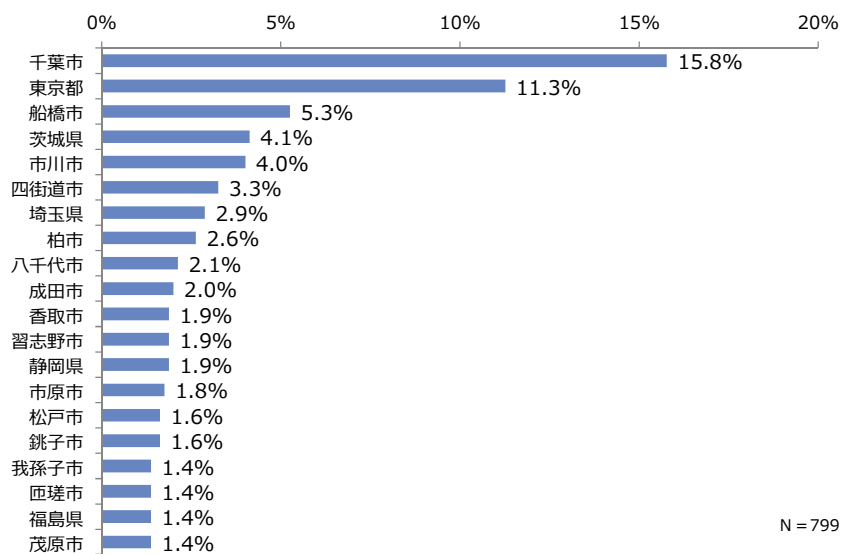
<図表 大学生等 出身地（上位 20 位）>



<出身高校所在地>

また大学生等回答者の出身高校の所在地は、千葉市が最も多く 15.8%、次いで県内の市では船橋市が 5.3%、市川市が 4.0%でした。県外では、東京都が 11.3%、茨城県が 4.1%でした。

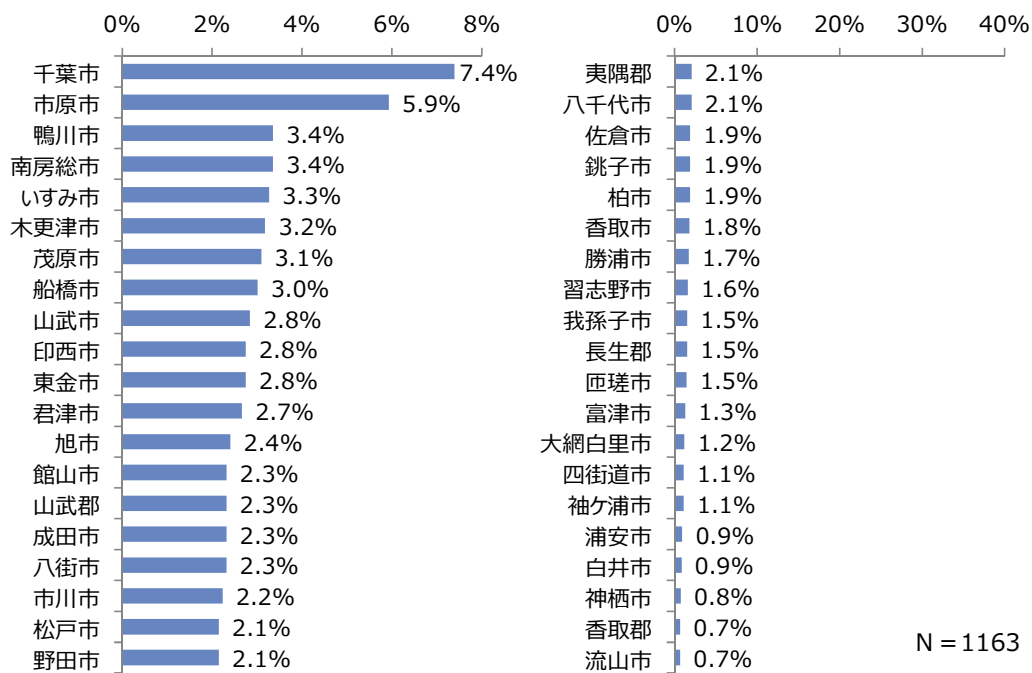
<図表 大学生等 出身高校所在地（上位 20 位）>



<居住地>

高校生の回答者の現在の居住地は千葉市が7.4%と最も多く、次いで市原市が5.9%でした。それ以下の地域は全て4%以下であり、特定の地域での偏りはありませんでした。

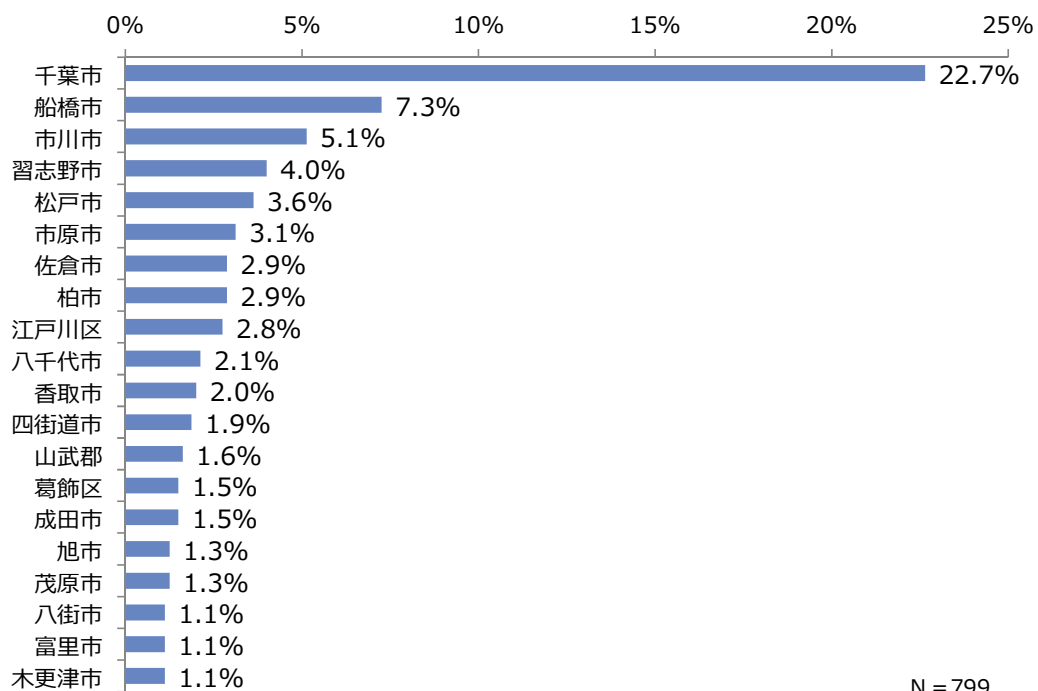
<図表 高校生 居住地（上位40位）>



大学生等の回答者の現在の居住地は千葉市が最も多く 22.7%でした。次いで船橋市 7.3%、市川市 5.1%となっています。

また回答者で県外に居住している方は、江戸川区が 2.8%、葛飾区 1.5%でした。

<図表 大学生等 居住地（上位 20 位）>



N = 799

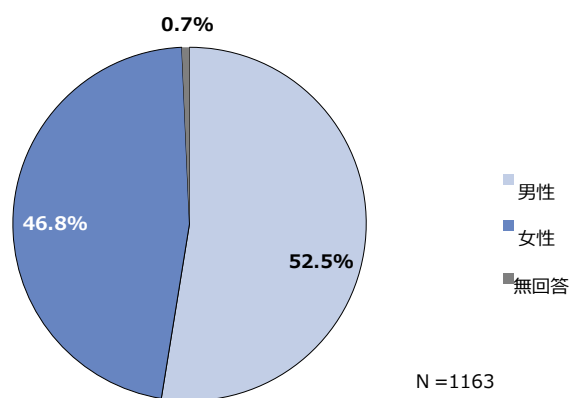
② あなたの現在の状況について

<性別>

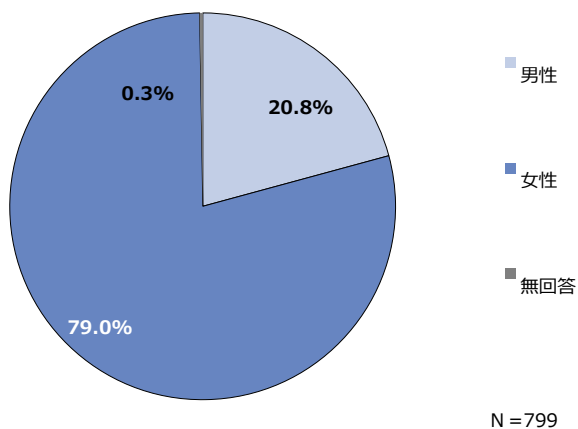
高校生は、男性 52.5%、女性 46.8%でした。

大学生等は男性 20.8%、女性 79.0%でした。大学生等の回答者は概ね女性となりました。

<図表 高校生 性別>



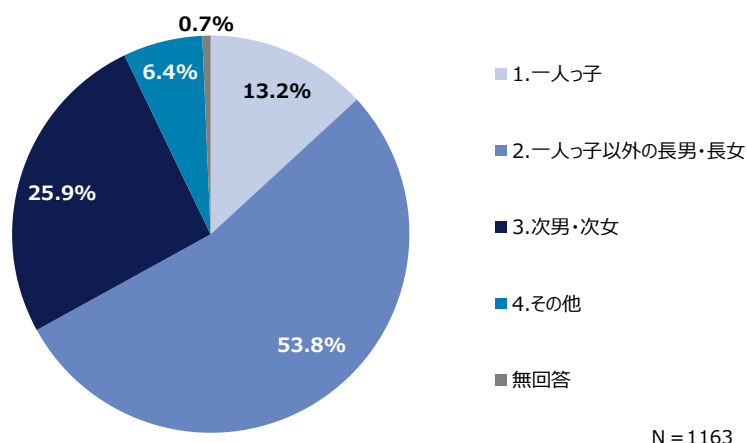
<図表 大学生等 性別>



<兄弟姉妹関係>

高校生の兄弟姉妹関係については、一人っ子以外の長男・長女が53.8%と最も多く全体の半数以上でした。次いで次男・次女が25.9%、一人っ子が13.2%でした。

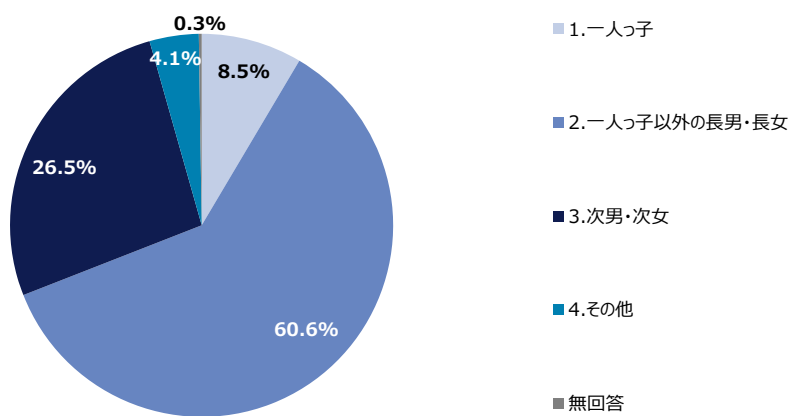
<図表 高校生 兄弟姉妹関係>



N = 1163

大学生等の兄弟姉妹関係については、一人っ子以外の長男・長女が60.6%と最も多く全体の6割以上でした。次いで次男・次女が26.5%、一人っ子が8.5%でした。

<図表 大学生等 兄弟姉妹関係>

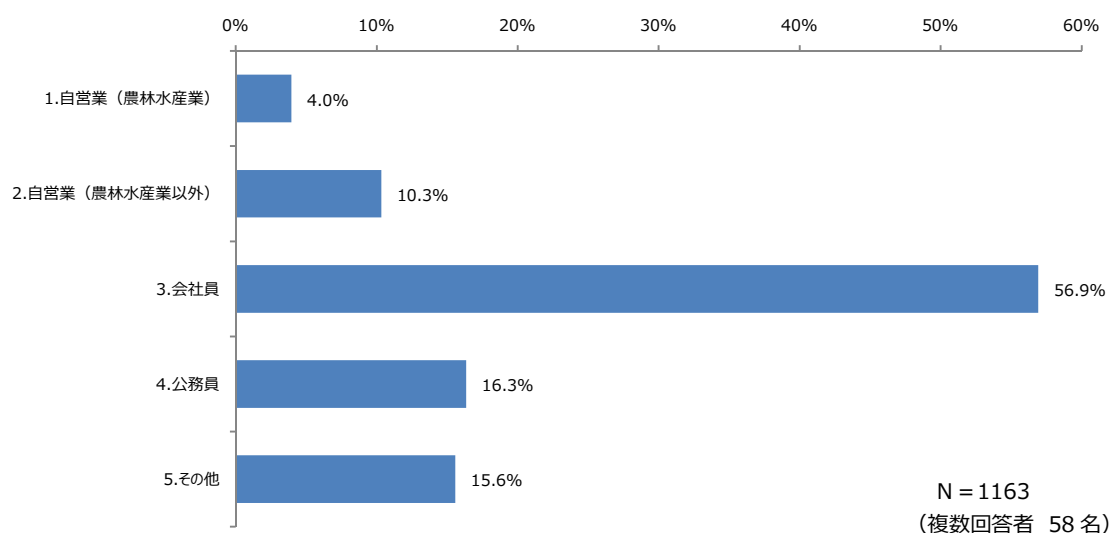


N = 799

<ご実家（ご両親）の職業>

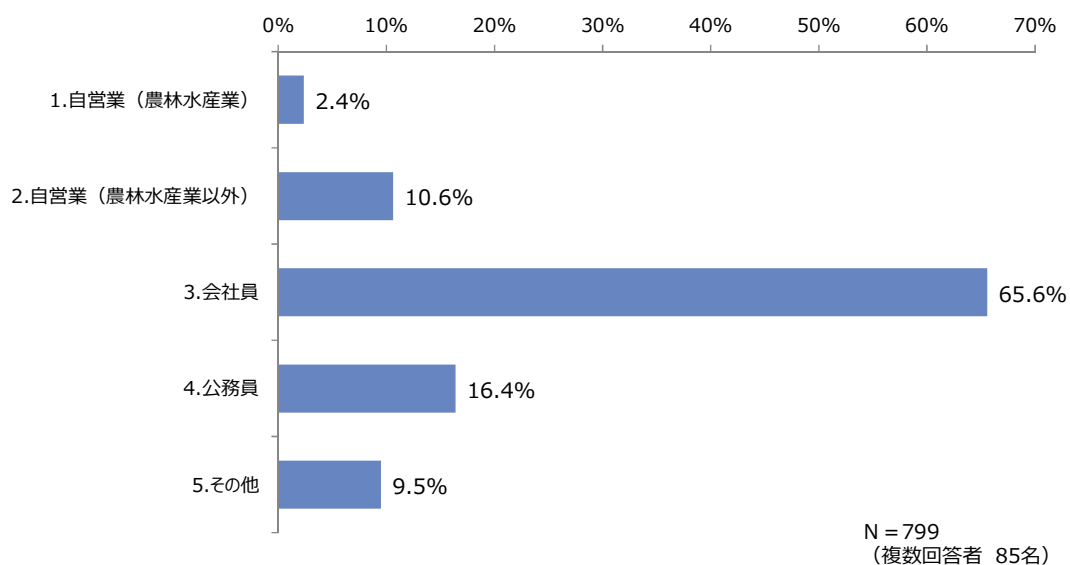
高校生において、ご実家（ご両親）の職業は、会社員が56.9%と最も多く、全体の半数以上でした。次いで公務員が16.3%、自営業（農林水産業以外）が10.3%、自営業（農林水産業）が4.0%でした。

<図表 高校生 実家（両親）の職業>



大学生等のご実家（ご両親）の職業については、会社員が65.6%と最も多く、全体の半数以上でした。次いで公務員が16.4%、自営業（農林水産業以外）が10.6%、自営業（農林水産業）が2.4%でした。

<図表 大学生等 実家（両親）の職業>



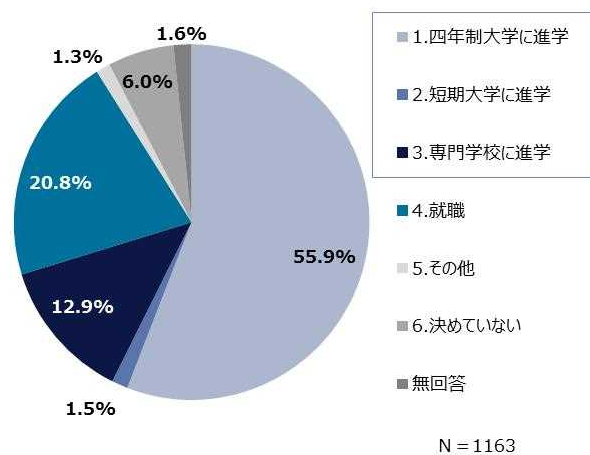
2) 進路に関する希望

① 高校卒業後の進路

高校卒業後の進路は、四年制大学に進学が55.9%と最も多く半数以上でした。次いで就職が20.8%、専門学校進学が12.9%、短期大学進学が1.5%でした。

上記のうち進学希望者（下図表中の枠内）が、希望する学校の所在地は、千葉県内が39.9%と最も多く、次いで東京都(23区)が27.9%、東京都(その他)が8.1%、北関東（茨城県・栃木県・群馬県）が1.8%となりました。また、決めていないとの回答も20.8%であり、進学先の大学等について明確な希望を持っていない回答者も一定数存在しています。

<図表 高校生 高校卒業後の進路>



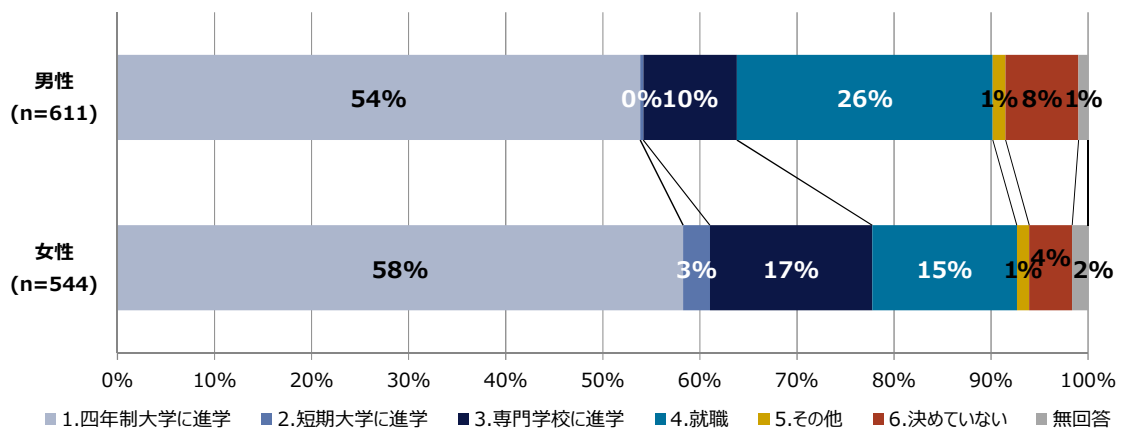
<図表 高校生 進学希望者の進路希望地域>



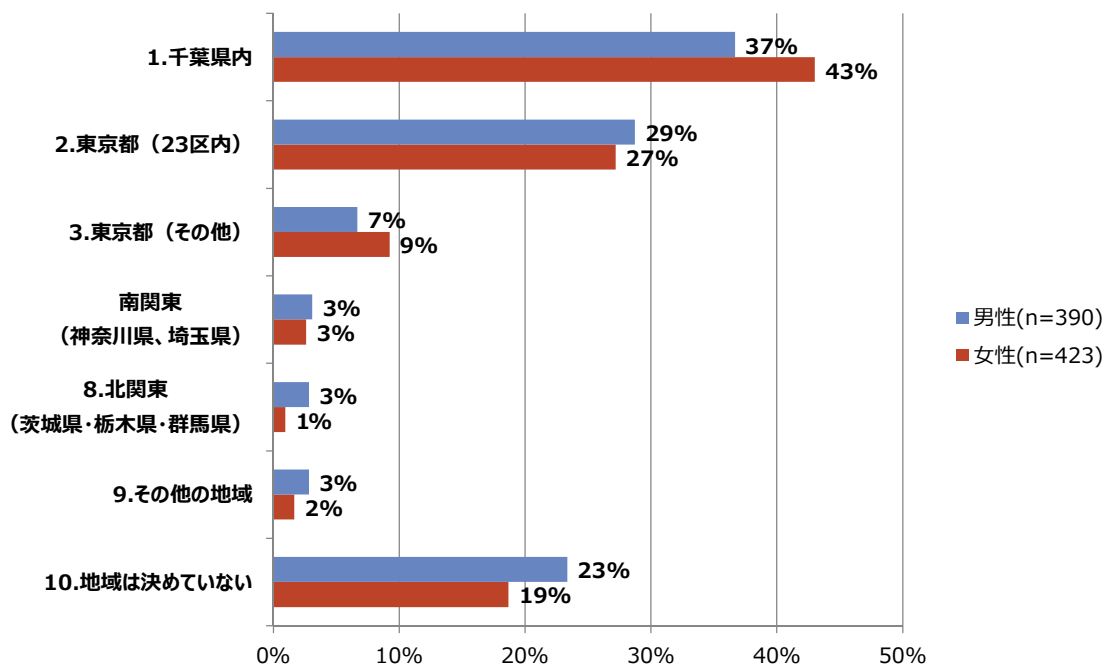
また、高校卒業後の進路を、性別で見ると4年制大学への進学については、男女大きな差がないものの、短期大学・専門学校については女性が高く、他方就職希望は男性が高い、との結果となりました。

上記の内、進学希望者が、希望する学校の所在地は、男女とも千葉県内が最も高いものの、女性の方がより千葉県内を希望する方が多い結果となりました。また、東京都（23区）は男性が高いとの結果となりました。

<図表 高校生 男女別高校卒業後の進路>



<図表 高校生 男女別高校卒業後の進路>

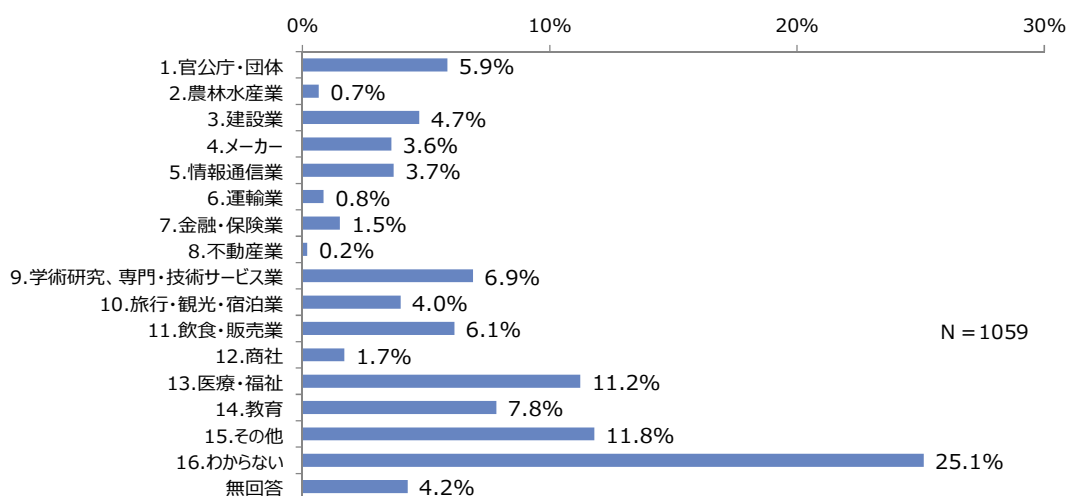


3) 将来の就職に関する希望

① 卒業後の就職希望職種

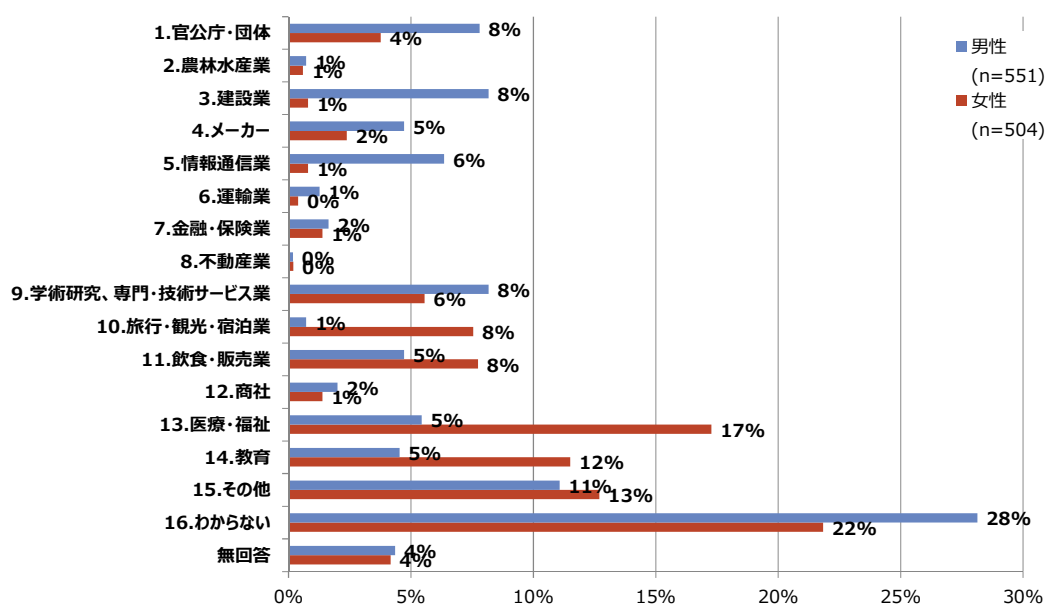
高校生が就職を希望している職種は、医療・福祉が、11.2%と最も多く、次いで教育が7.8%、学術研究、専門・技術サービスが6.9%、飲食・販売業6.1%でした。他方、わからないとの回答が25.1%であり具体的な職種まで希望を持っていない回答者が一定数いました。

<図表 高校生 卒業後の就職希望職種>



また男女別にみると、男性は官公庁・団体、建設業、学術研究、専門・技術サービス業が多く、女性は医療・福祉、教育が多い結果でした。

<図表 高校生 男女別卒業後の就職希望職種>

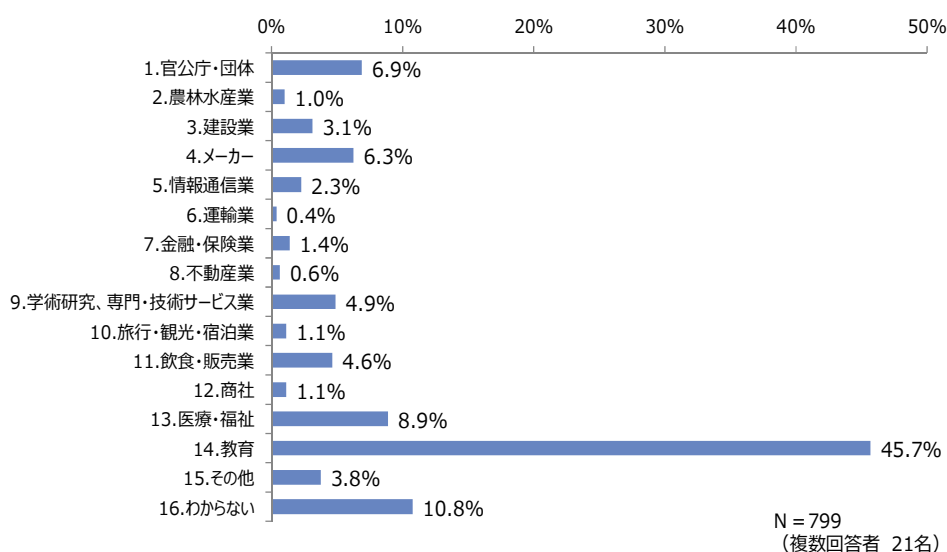


大学生等が将来就職を希望している職種は、教育が45.7%と最も多く、次いで医療・福祉が8.9%、官公庁・団体が6.9%、メーカーが6.3%でした。

これは、回答者の所属している大学・短期大学の専攻や学部等に偏りがあったため、回答が集中した結果と考えられます。

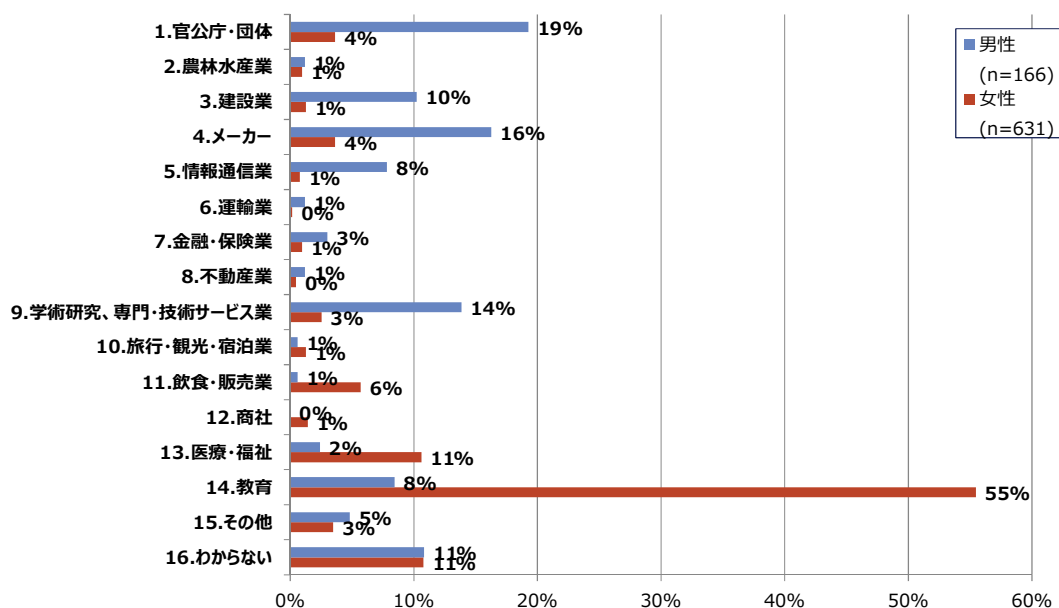
なお、高校生と異なり、わからないとの回答は10%程度となり、高校生と比べて具体的な将来の希望を持っている方が増えていることがうかがえます。

<図表 大学生等 就職希望職種>



また、男女別に将来希望している職種では、男性は官公庁・団体、メーカー、学術研究、専門・技術サービス業が多く、女性は教育、医療福祉が多い結果でした。特に女性では半数以上が教育、との回答でした。

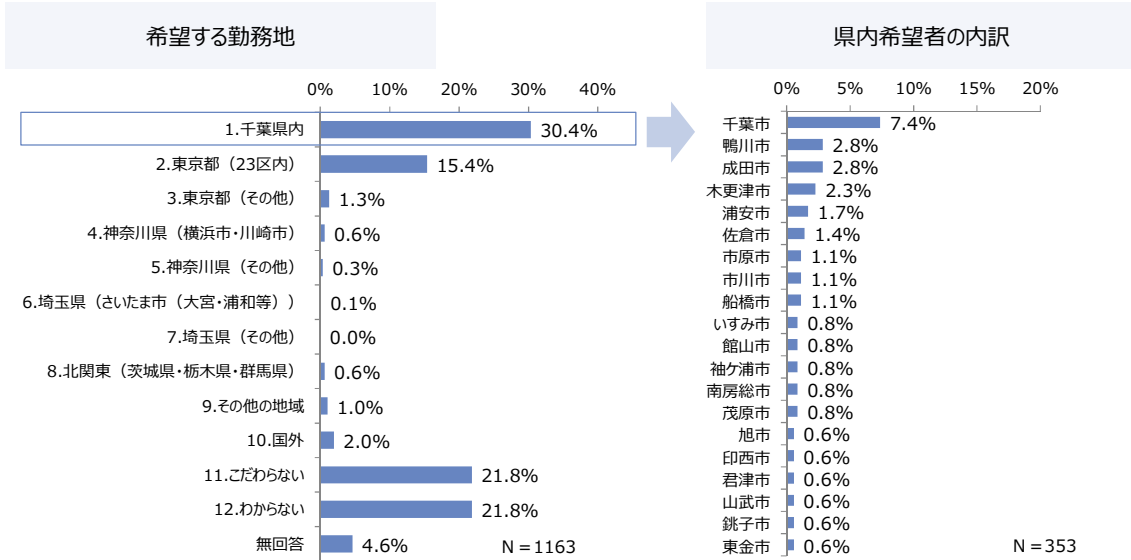
<図表 大学生等 男女別卒業後の就職希望職種>



② 希望する勤務地

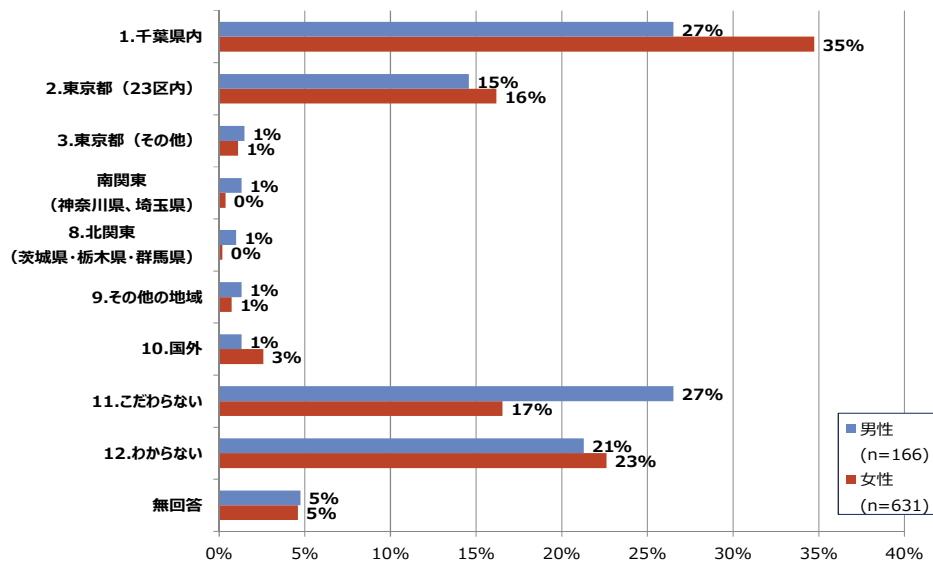
高校生は、卒業後に希望する勤務地は千葉県内が最も多く、30.4%を占め、次いで東京都（23区内）が15.4%でした。県内の希望者では、千葉市希望が7.4%と人気が高く、次いで鴨川市、成田市が2.8%となっています。一方、勤務地にはこだわらない、わからないとする学生もそれぞれ21.8%でした。

<図表 高校生 就職先の希望地域>



男女別では、男女とも千葉県内が最も高いものの、女性の方がより千葉県内を希望する方が多い結果となりました。また東京都（23区）を希望する方も女性が多く、他方、男性は地域にこだわらないが高い結果でした。

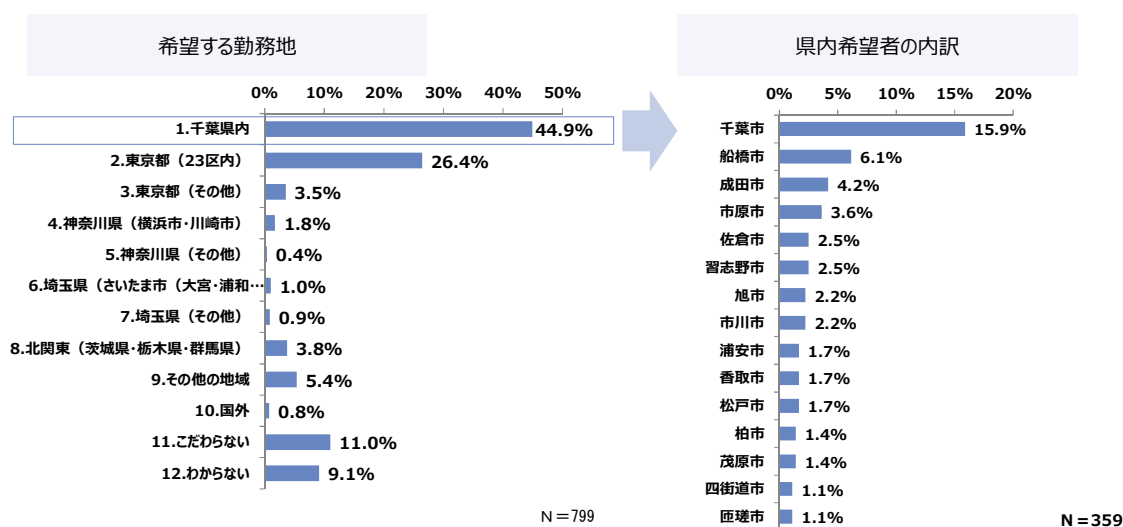
<図表 高校生 男女別就職先の希望地域>



大学生等の場合、卒業後に希望する勤務地は、千葉県内が44.9%と最も多く、次いで東京都（23区内）が26.4%でした。また、勤務地についてはこだわらない、わからないとの回答が、それぞれ11.0%、9.1%と全体で20%程度いました。

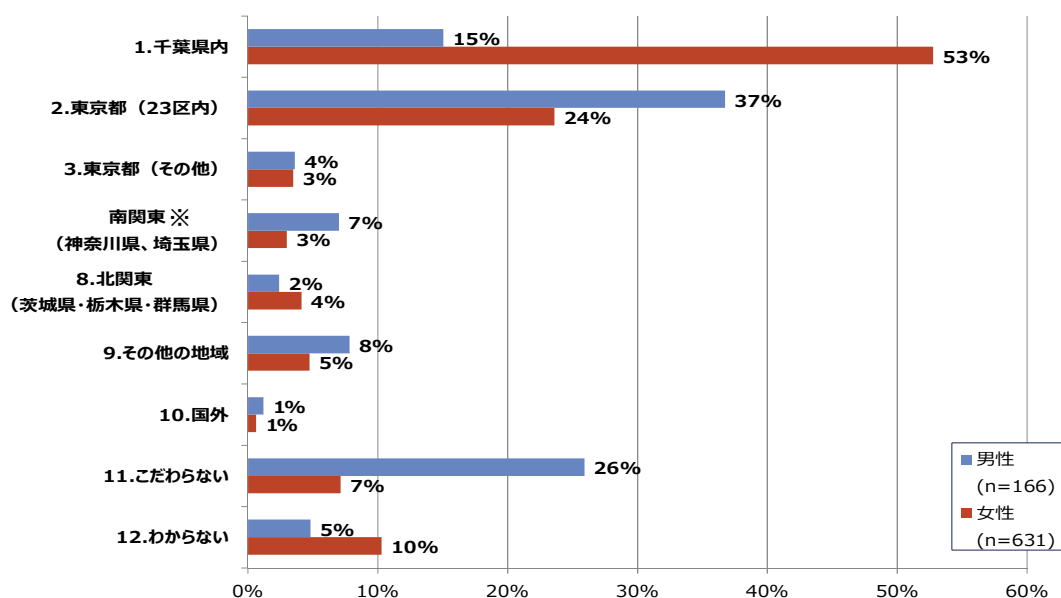
県内での就職希望者は、千葉市が最も多く15.9%となり。次いで船橋市の6.1%、成田市の4.2%でした。

<図表 大学生等 就職先の希望地域>



男女別では、女性は千葉県内が最も高く、他方、男性は東京都（23区）、こだわらないが多い結果となりました。

<図表 大学生等 男女別就職先の希望地域>

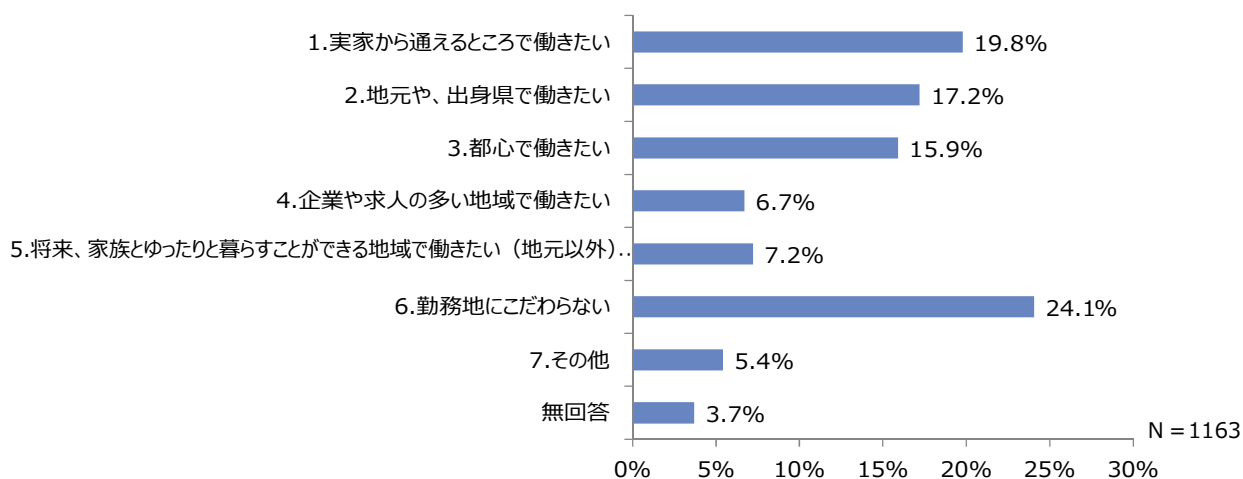


※神奈川、埼玉については件数が少なかったため、南関東としてまとめて表示

③就職先を決める際の勤務地の考え方

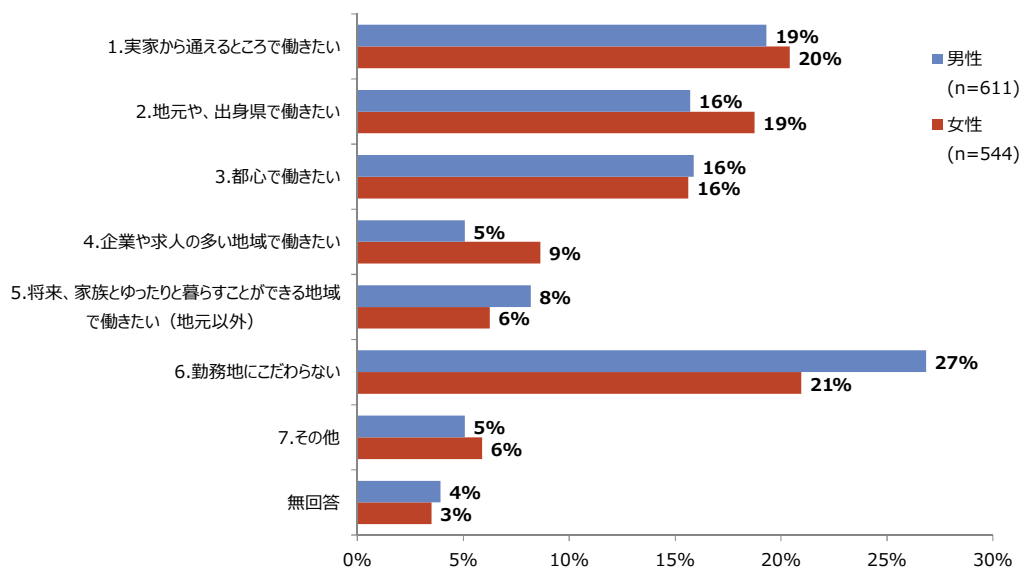
高校生において、就職先を決める際の勤務地の考え方は、勤務地にこだわらないとする回答が24.1%と最も多い結果でしたが、実家から通えるところで働きたいが19.8%、地元や、出身県で働きたいが17.2%で、全体の40%近くとなりました。なお、都心で働きたいという回答は15.9%みられました。

<図表 高校生 就職時の勤務地に対する希望>



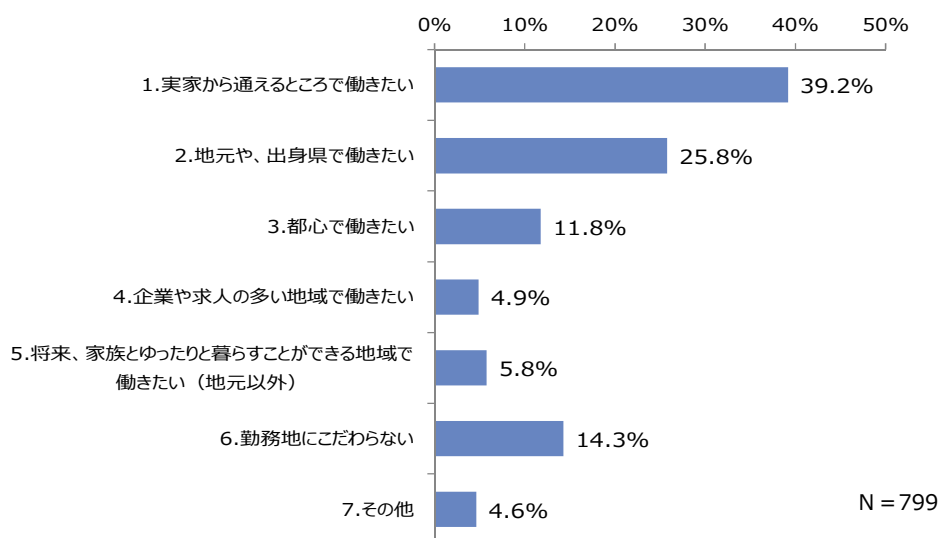
また男女別にみると、勤務地にこだわらないとの回答が男性でやや高いものの、男女で大きな違いは見られませんでした。

<図表 高校生 男女別就職時の勤務地に対する希望>



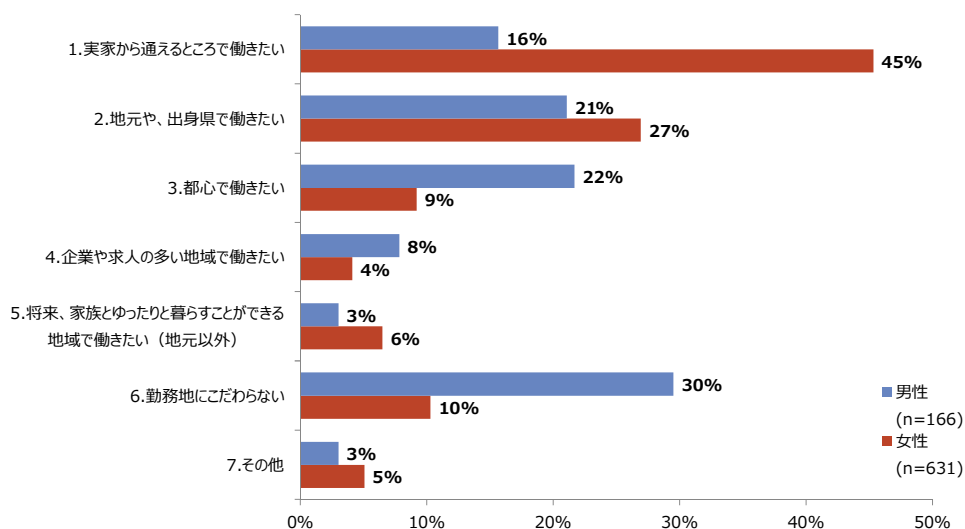
大学生等の場合は、実家から通えるところで働きたいが39.2%と最も多く、次いで地元や出身県で働きたいが25.8%で、全体の65%以上となり、都心で働きたい、企業や求人の多い地域で働きたいとの回答はそれぞれ11.8%、4.9%にとどまっていることから、全体として地元志向の傾向が強くなりました。

<図表 大学生等 就職時の勤務地に対する希望>



また男女別にみると、実家から通えるところで働きたいが女性が多く、都心で働きたい、又は勤務地にこだわらないでは男性が多い結果でした。

<図表 大学生等 男女別就職時の勤務地に対する希望>

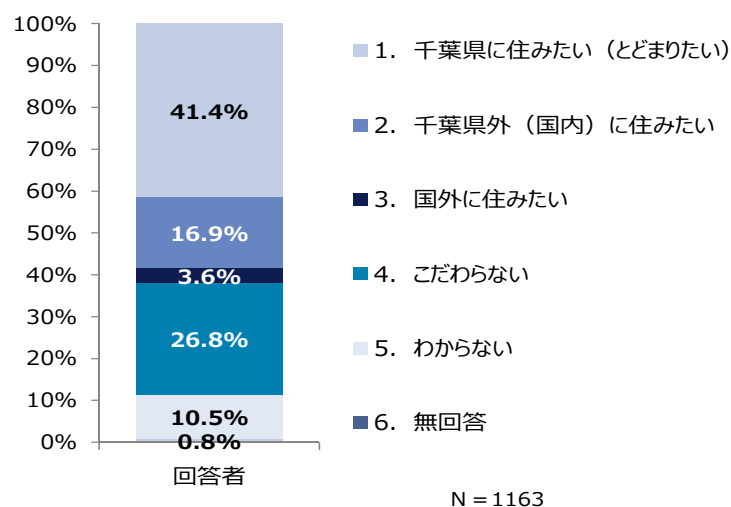


4) 将来の居住地に関する希望

① 就職後の居住地の希望

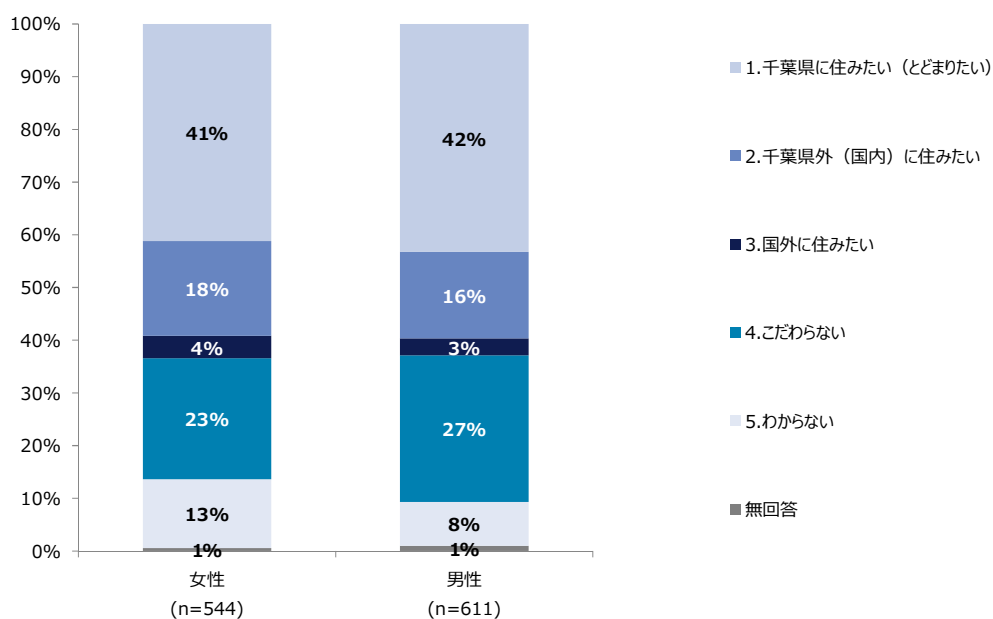
高校生の就職後の居住地の希望については、千葉県内に住みたい(とどまりたい)が41.4%と最も多く、次いでこだわらないが26.8%となっています。明確に千葉県外に住みたいという移住希望は、全体の20.5%（県外及び国外の合計）であり、千葉県に対する定住希望者が多いと言えます。

<図表 高校生 就職後の居住地の希望>



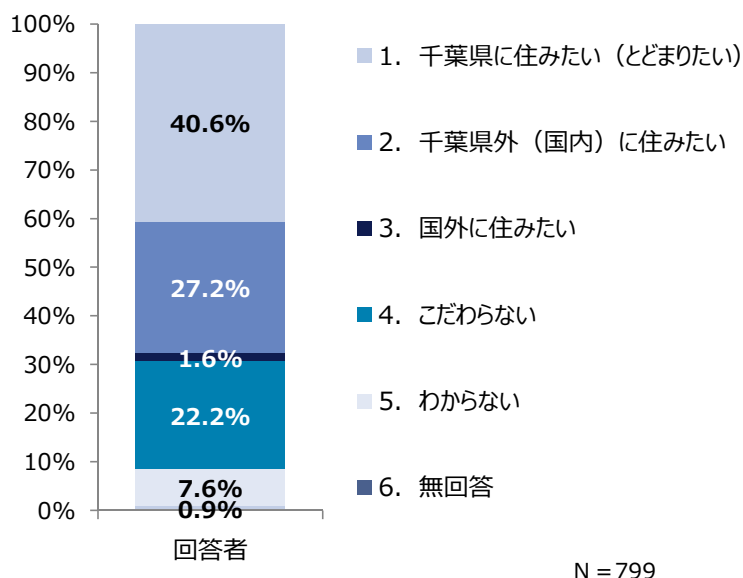
また、男女別にみると、こだわらないとの回答で男性が若干高いものの、大きな違いはありませんでした。

<図表 高校生 男女別就職後の居住地の希望>



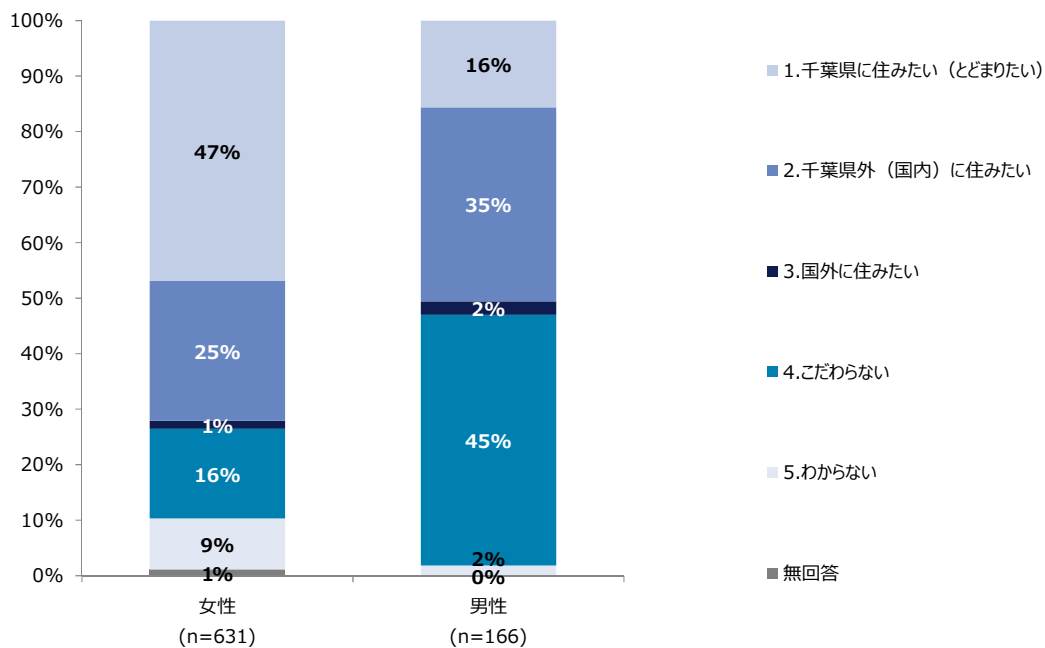
大学生等の場合、就職後の居住地の希望については、千葉県内に住みたい（とどまりたい）が40.6%と最も多く、次いで千葉県外（国内）に住みたいが27.2%、こだわらないが22.2%でした。

<図表 大学生等 就職後の居住地>



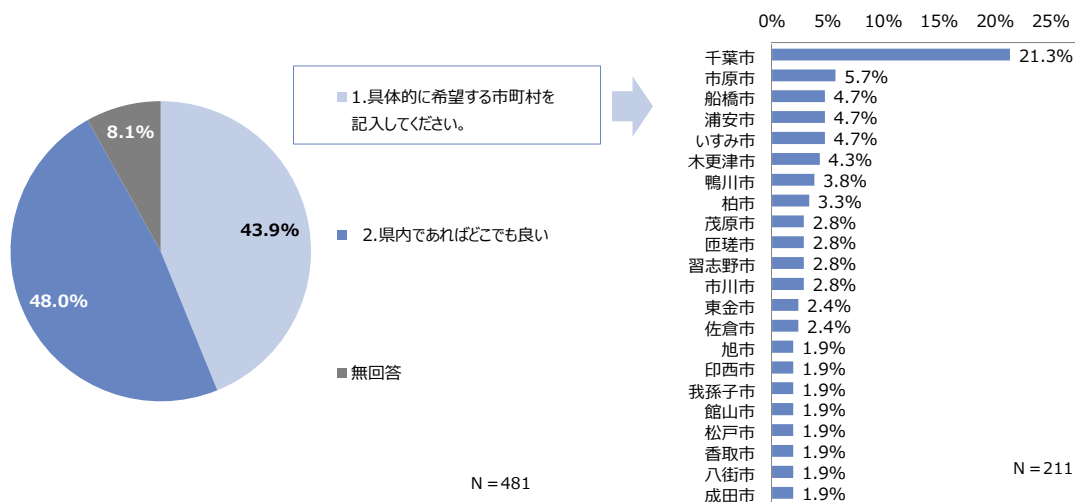
男女別にみると、千葉県に住みたいとの回答が女性はほぼ半数となり、他方男性はこだわらない、との回答が45%と大きく分かれました。

<図表 大学生等 男女別就職後の居住地>



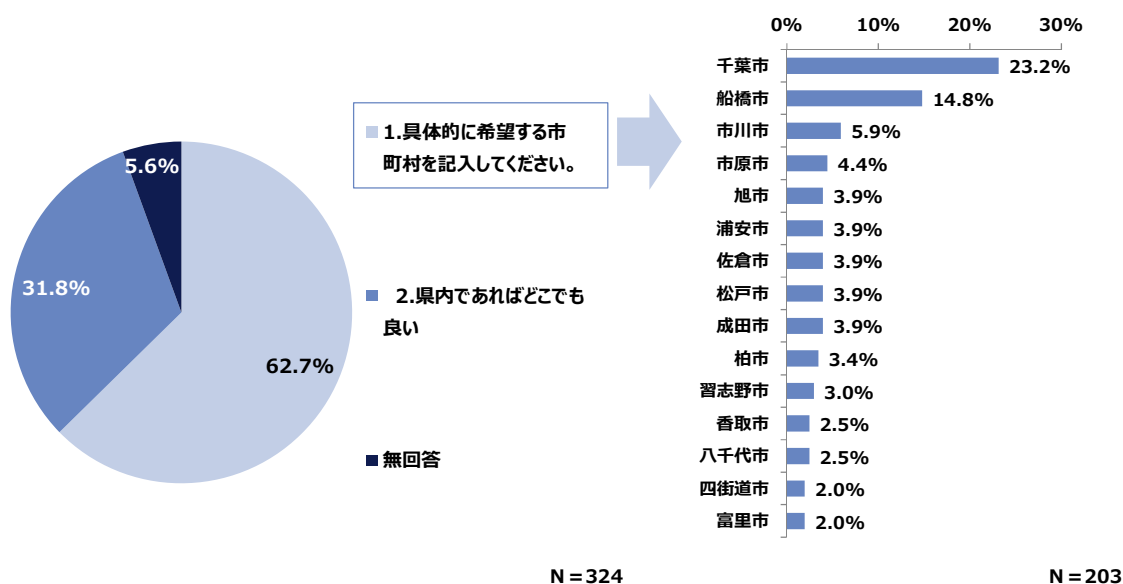
高校生の就職後の居住地に関して、千葉県に住みたいと回答した方のうち、半数近くの48.0%が県内であればどこでも良いと回答しましたが、43.9%は具体的に住みたい市町村名を記入しました。具体的に住みたい市町村で一番多いのは千葉市で21.3%、次いで市原市が5.7%、船橋市、浦安市、いすみ市が4.7%でした。

<図表 高校生 就職後の居住地（県内希望者）>



大学生等の場合、就職後の居住地に関して、千葉県に住みたいと回答した方のうち、62.7%が具体的に居住したい市町村を上げており、県内であればどこでも良いとの回答は31.8%でした。具体的に住みたい市町村で一番多いのは千葉市で23.2%、次いで船橋市が14.8%、市川市5.9%でした。

<図表 大学生等 就職後の居住地（県内希望者）>

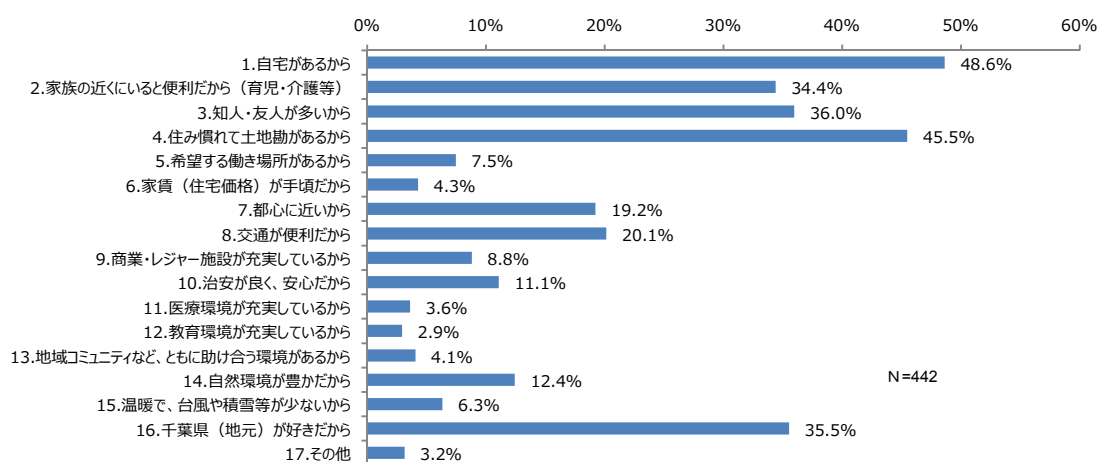


② 千葉県内の地域を居住地に選ぶ理由

高校生の場合、具体的に住みたい市町村を選ぶ理由は、自宅があるからという回答が最も多く、48.6%と約半数を占めました。次いで、住み慣れて土地勘があるからが45.5%、知人・友人が多いからが36.0%でした。

上記に加えて、家族の近くにいると便利だからが34.4%など、家族や友人とのつながりを重視し、就職後も千葉県にとどまりたいという考えも多くみられます。

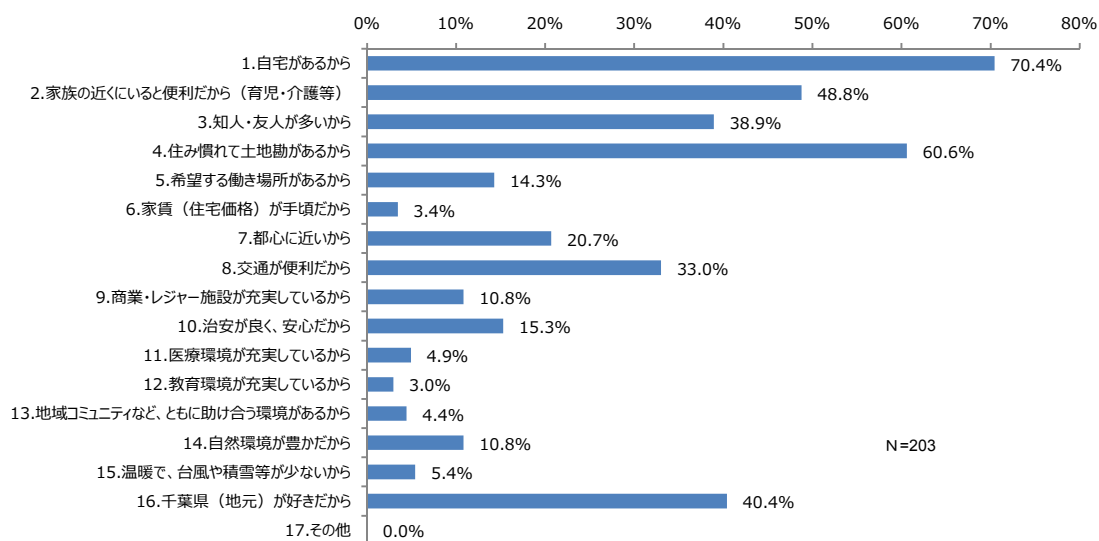
<図表 高校生 居住地を選ぶ理由（県内希望者）>



大学生等の場合、具体的に住みたい市町村を選ぶ理由は、自宅があるからという回答が最も多く、70.4%でした。次いで、住み慣れて土地勘があるからが60.6%、家族の近くにいると便利だから（育児・介護等）が48.8%でした。

上記に加えて友人・知人が多いからが38.9%など、地縁や家族や友人とのつながりを重視し、就職後も千葉県にとどまりたいという考えがみられます。

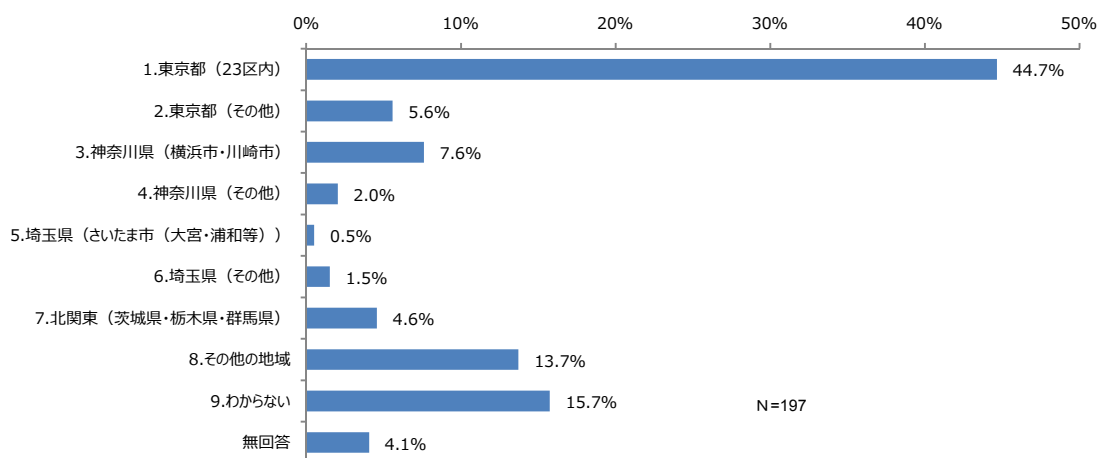
<図表 大学生等 居住地を選ぶ理由（県内希望者）>



③ 居住を希望する千葉県外の地域、及び千葉県が選ばれない理由

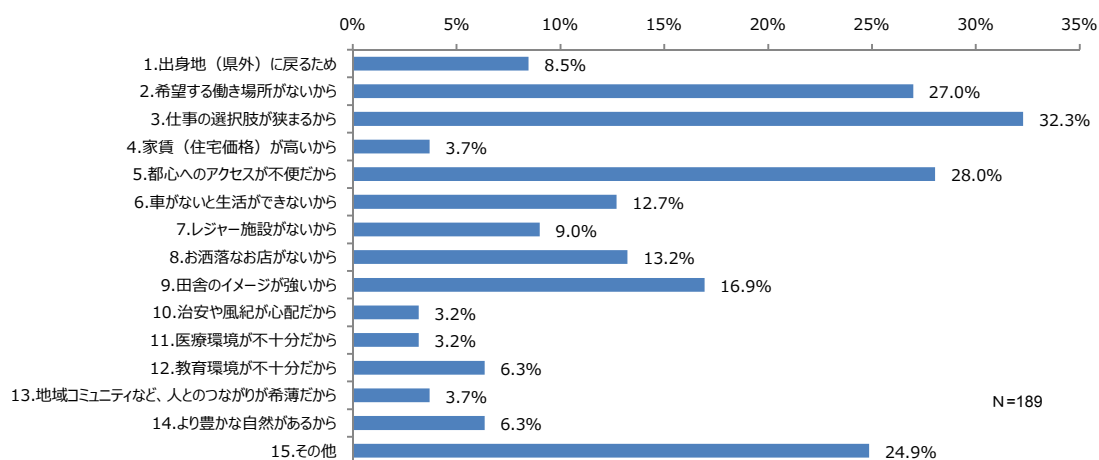
高校生が就職後千葉県外（国内）に居住したいとする回答者では、東京都（23区）への居住希望が最も多く、23区内外合わせて50.3%でした。関東圏以外のその他の地域への居住希望者は13.7%であり、希望居住地が、東京都をはじめ、関東圏中心となっています。他方、わからないとする回答も15.7%みられ、一定数の学生が、現時点で将来の希望が明確でないということがうかがえます。

<図表 高校生 就職後の居住地（県外希望者）>



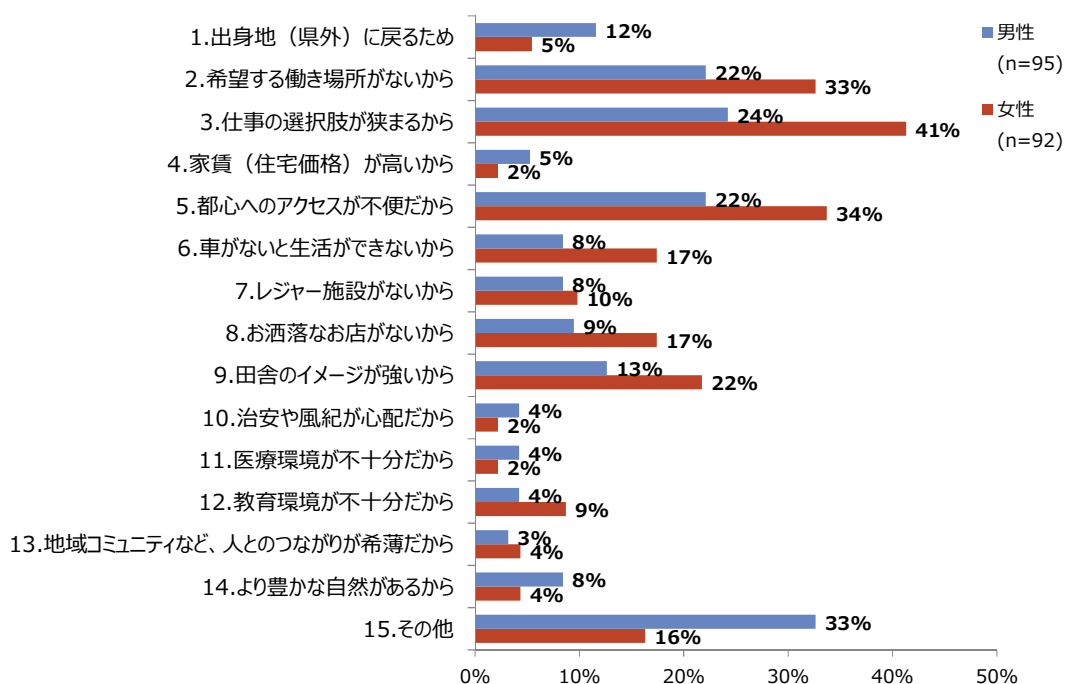
高校生が千葉県外（国内）に居住を希望する理由は、仕事の選択肢が狭まるからが最も多く32.3%でした。次いで、都心へのアクセスが不便だから28.0%、希望する働き場所がないから27.0%でした。仕事の幅広い選択肢や機会を求めて、千葉県外を希望するという回答が上位に挙げられる結果となりました。

<図表 高校生 居住地を選ぶ理由（県外希望者）>



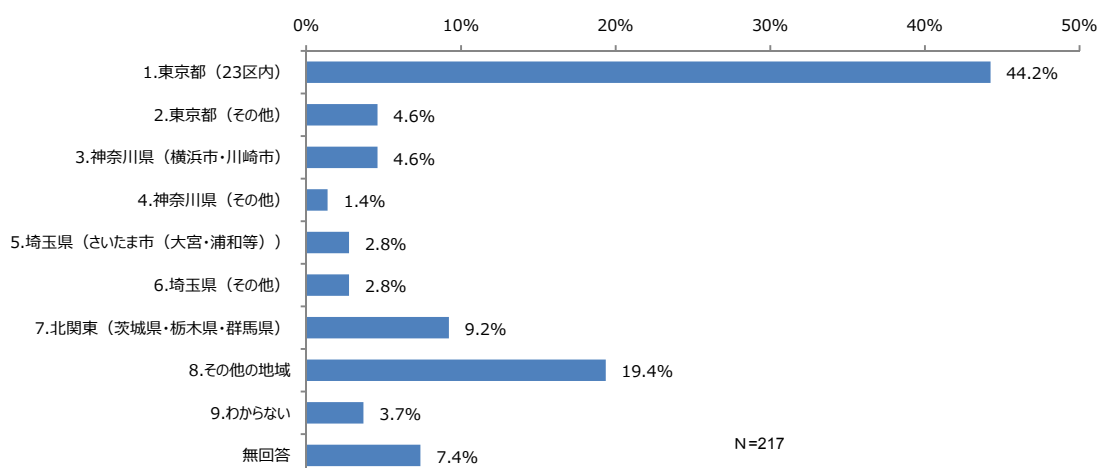
男女別にみると、男女とも、仕事の選択肢が狭まるから、都心へのアクセスが不便だから、希望する働き場所がないからが高い結果でした。また、特に女性で、お洒落なお店がないから、田舎のイメージが強いからという回答が多い結果でした。

<図表 高校生 男女別居住地を選ぶ理由（県外希望者）>



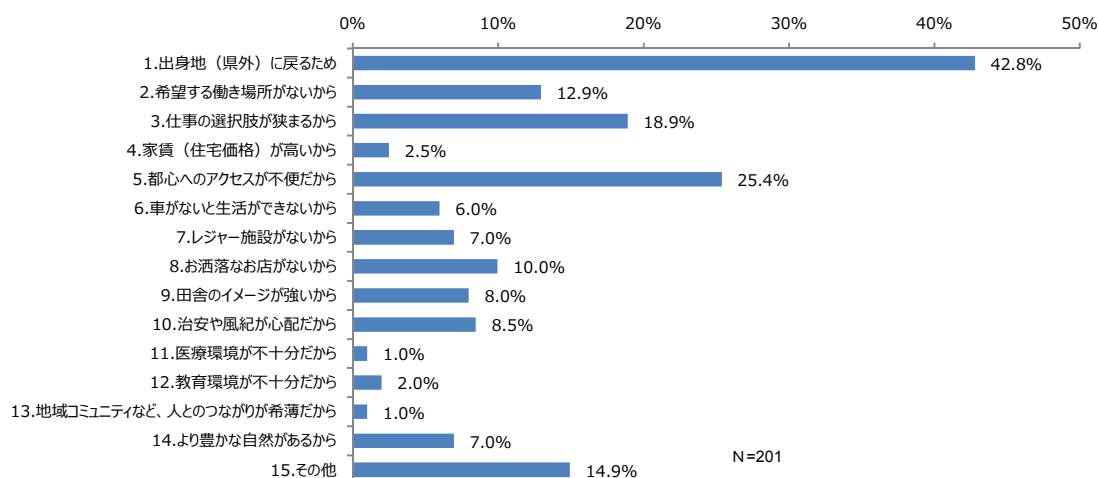
大学生等で就職後、千葉県外（国内）に居住したいとする回答者は、東京都（23区）への居住希望が最も多く44.2%でした。関東圏以外のその他の地域への居住希望は19.4%であり、希望居住地が、東京都を中心とした関東圏中心となっています。他方、わからないとする回答は3.7%であり多くの学生が、就職後の居住地に対する具体的な希望を持っていることがうかがえます。

<図表 大学生等 就職後の居住地（県外希望者）>



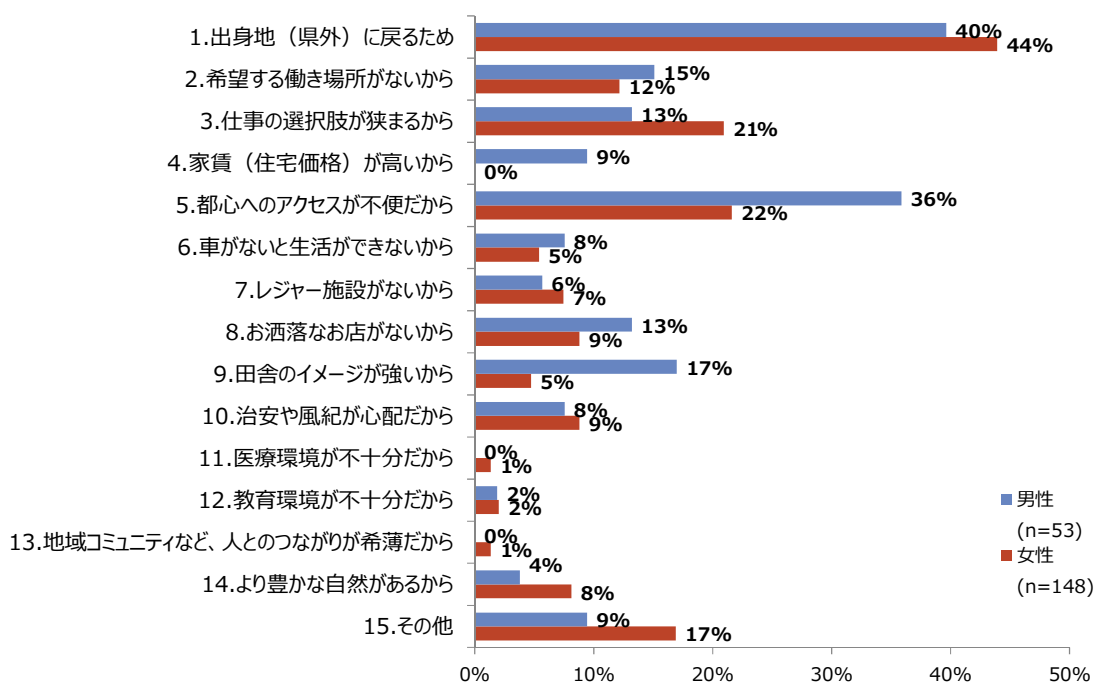
大学生等が就職後、千葉県外（国内）に居住を希望する理由は、出身地（県外）に戻るための42.8%と最も多く、次いで都心へのアクセスが不便だから25.4%となっています。仕事の選択肢が狭まるからが18.9%、希望する働き場所がないからが12.9%であり、仕事の幅広い選択肢や働く機会を求めて、千葉県外を希望するという回答も高い傾向にあります。

<図表 大学生等 居住地を選ぶ理由（県外希望者）>



男女別にみると、男女とも出身地（県外）に戻るための割合がほぼ40%で最も高くなりました。また特に男性で、都心へのアクセスが不便だから、お洒落なお店がない、田舎のイメージが強いから、との回答が多い結果でした。

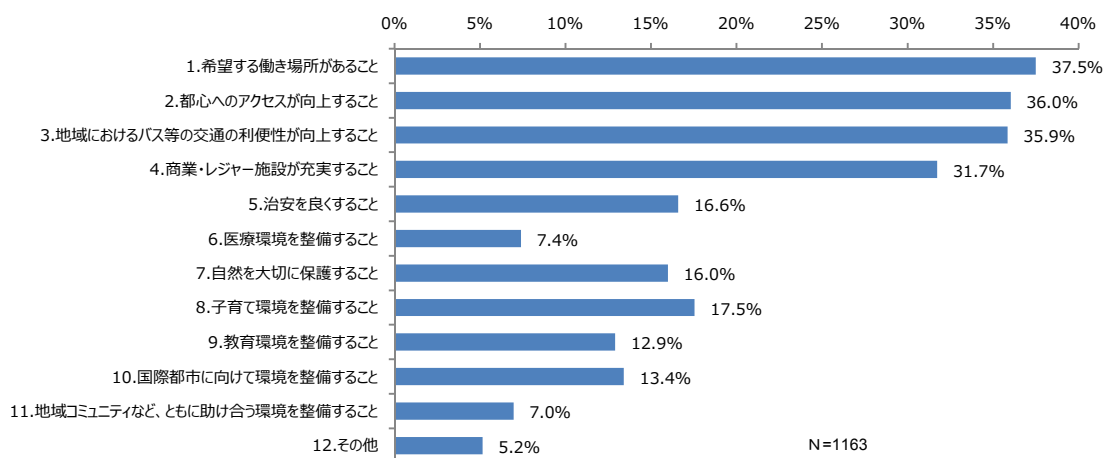
<図表 大学生等 男女別居住地を選ぶ理由（県外希望者）>



④千葉県が居住地として選ばれるために改善していくべき点

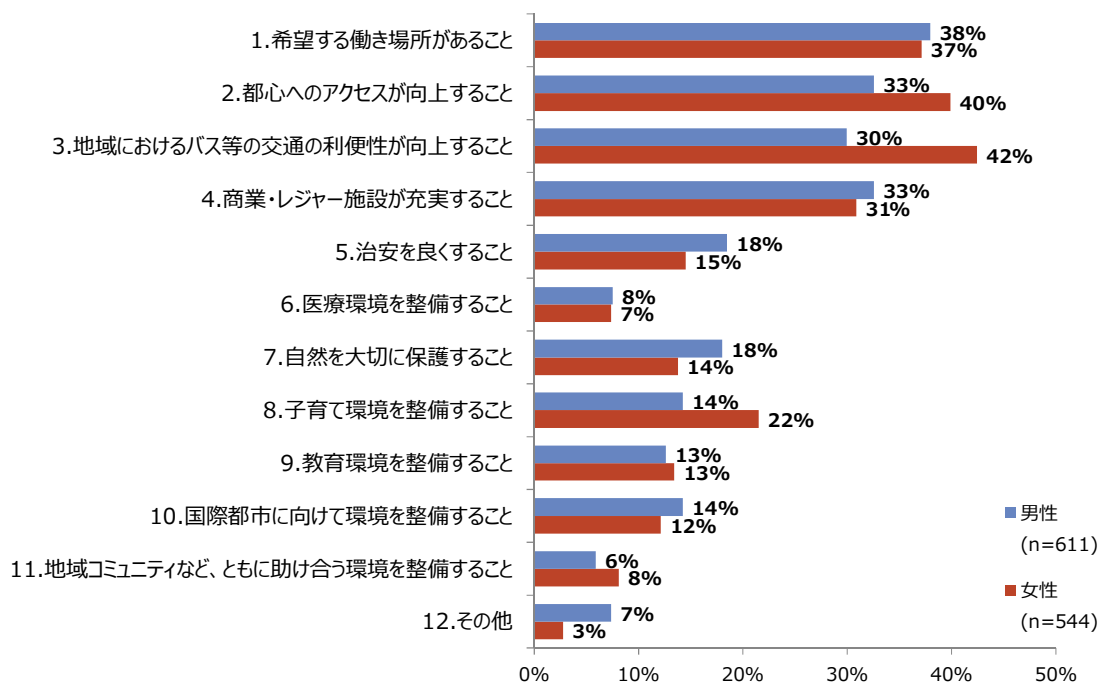
高校生では、千葉県が居住地として選ばれるために改善していくべき点として、希望する働き場所があることが37.5%と最も多い回答となりました。次いで、都心へのアクセス向上が36.0%、地域におけるバス等の交通利便性の向上が35.9%、商業・レジャー施設が充実することが31.7%と働き場所や商業施設の充実、交通網の改善等、都市機能の整備が必要だとする回答が上位となりました。

<図表 高校生 居住地として選ばれるための改善点>



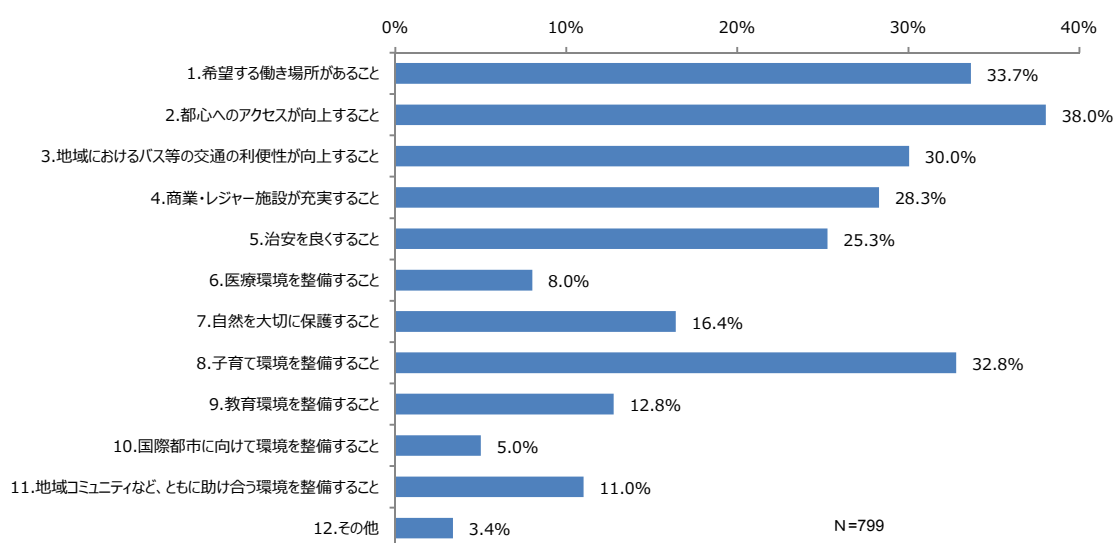
男女別にみると、女性では、都心へのアクセスが向上することや、地域におけるバス等の交通の利便性が向上すること、子育て環境を整備することの回答において、男性よりやや高い結果となっています。

<図表 高校生 男女別居住地として選ばれるための改善点>



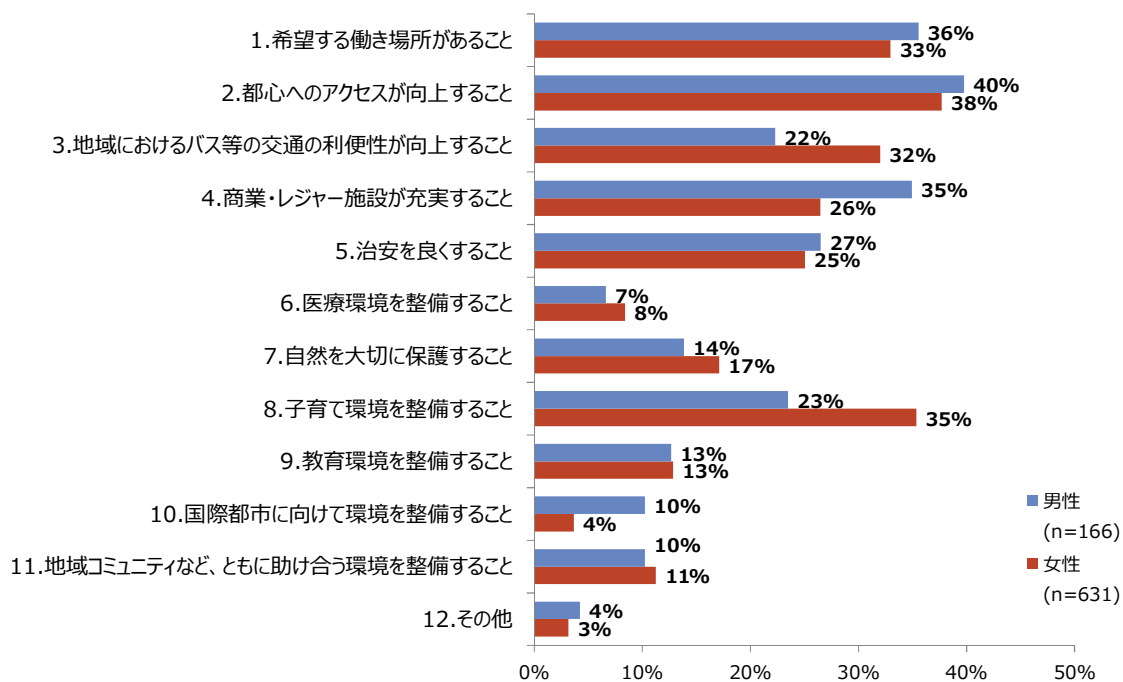
大学生等では、都心へのアクセスが向上することが38.0%と最も多い回答となりました。次いで希望する働き場所があることが33.7%、子育て環境を整備することが32.8%、地域におけるバス等の交通利便性の向上が30.0%と、働き場所や交通網の改善等の都市機能の整備や子育て環境の整備が必要とする回答が上位という結果となりました。

<図表 大学生等 居住地として選ばれるための改善点>



男女別にみると、女性では、地域におけるバス等の交通の利便性が向上すること、子育て環境を整備することにおいて回答が男性よりやや高く、男性では商業・レジャー施設が充実することが女性よりやや高い結果となりました。

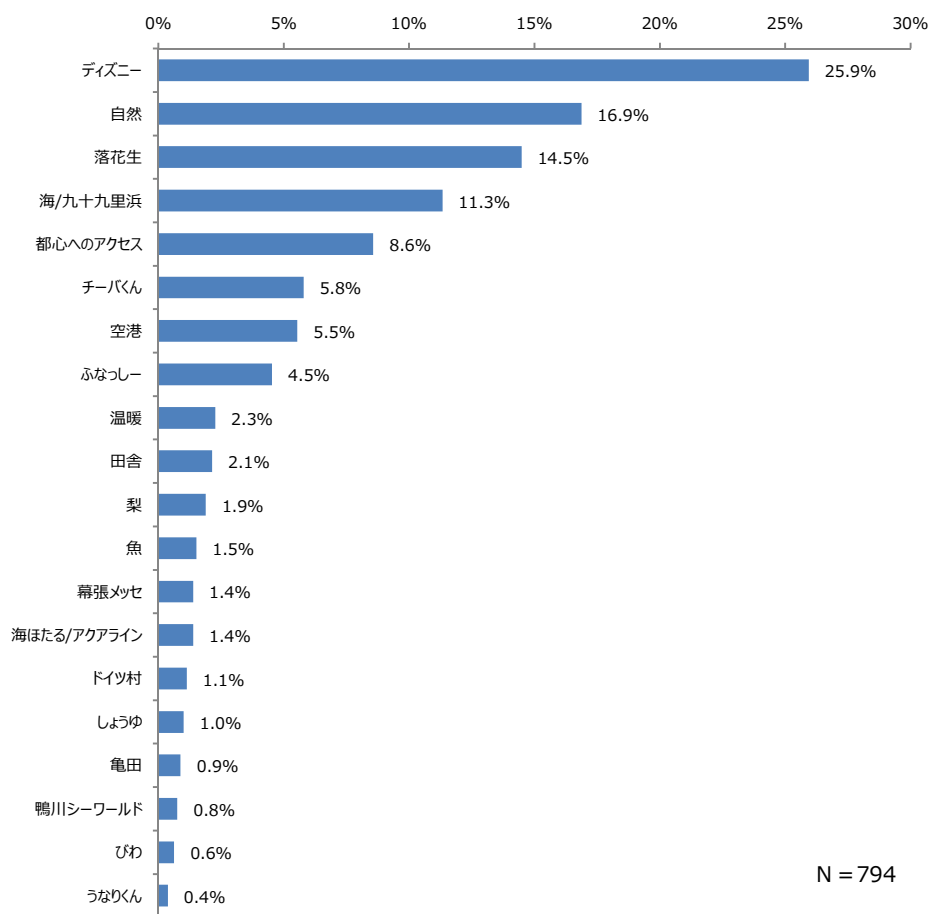
<図表 大学生等 男女別居住地として選ばれるための改善点>



5) 千葉県の自慢

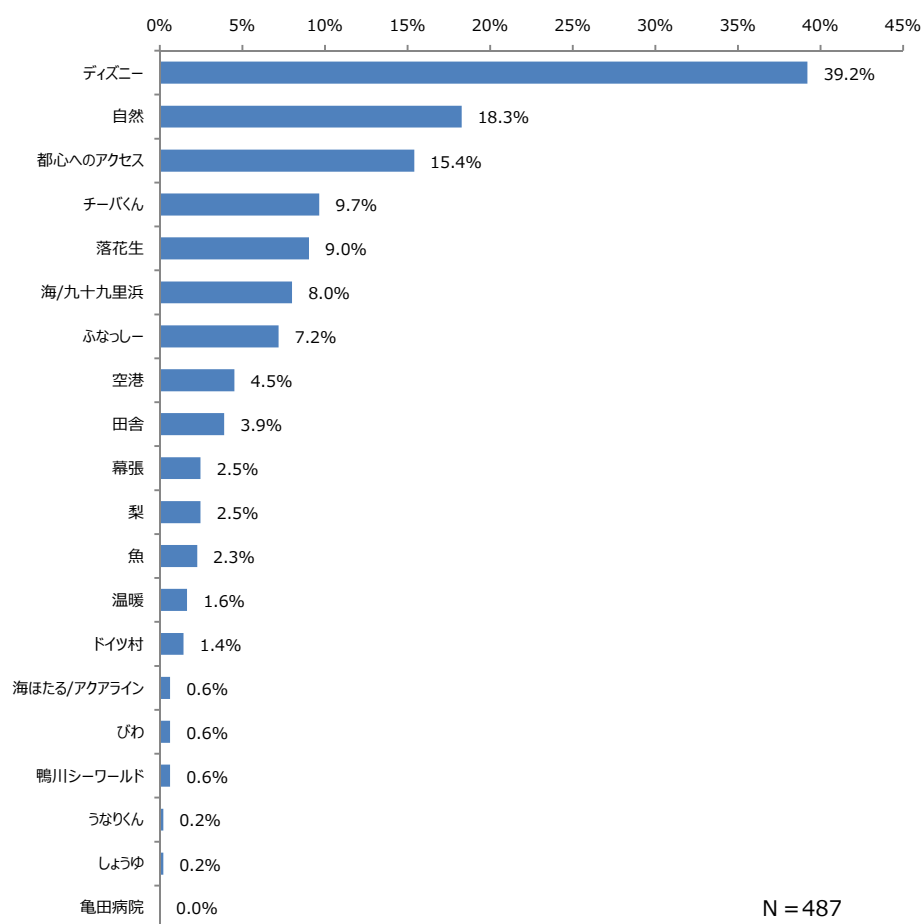
高校生では、千葉県が自慢できるものとして挙げられているのが、東京ディズニーリゾートの26.0%で最も多い回答となりました。次いで自然が16.9%、落花生が14.5%、海/九十九里浜11.3%となっています。都心へのアクセスを挙げる回答も8.6%あり、商業施設、自然、特産物などのほかに、都心への利便性も千葉県の魅力となっています。

<図表 高校生 千葉県が自慢できるもの>



大学生等では千葉県が自慢できるものとして挙げられているのが、東京ディズニーリゾートで 39.2%と最も多い回答となりました。次いで、自然が 18.3%、都心へのアクセスが 15.4%でした。4 位以下はチーバくん 9.7%、落花生が 9.0%、海/九十九里浜が 8.0%、ふなっしー7.2%となり、自然やゆるキャラの知名度の高さがうかがえます。

<図表 大学生等・短大生 千葉県が自慢できるもの>



4. 調査結果報告（地域別比較）

上記3. 調査結果を、高校生及び大学生等の居住地ごとに下記の通り分類し、集計した結果についてまとめています。

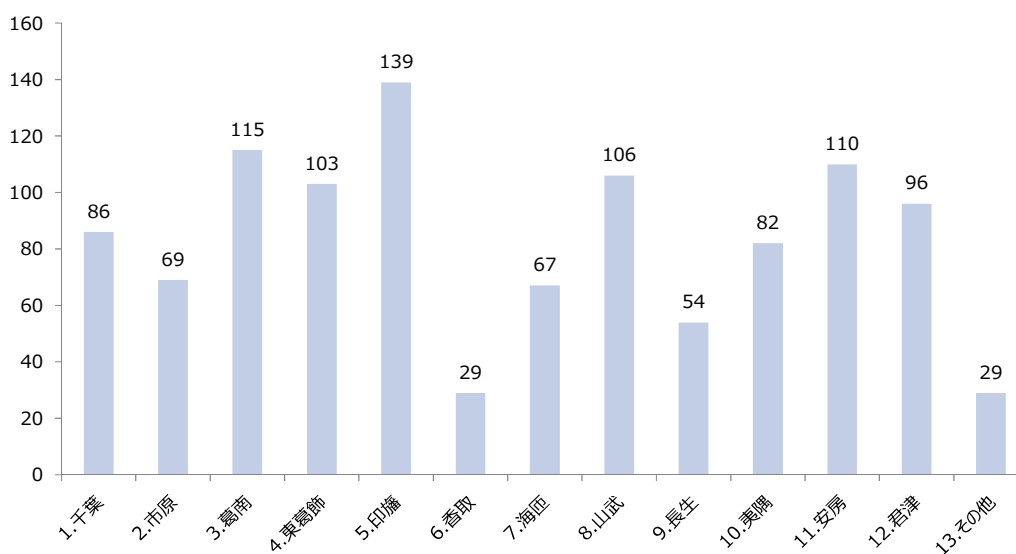
名称	所管区域
千葉市	千葉市
市原市	市原市
葛南地域振興事務所	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域振興事務所	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛地域振興事務所	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
香取地域振興事務所	香取市、香取郡
海匝地域振興事務所	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域振興事務所	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
長生地域振興事務所	茂原市、長生郡
夷隅地域振興事務所	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
安房地域振興事務所	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
君津地域振興事務所	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

1) 回答者の属性等

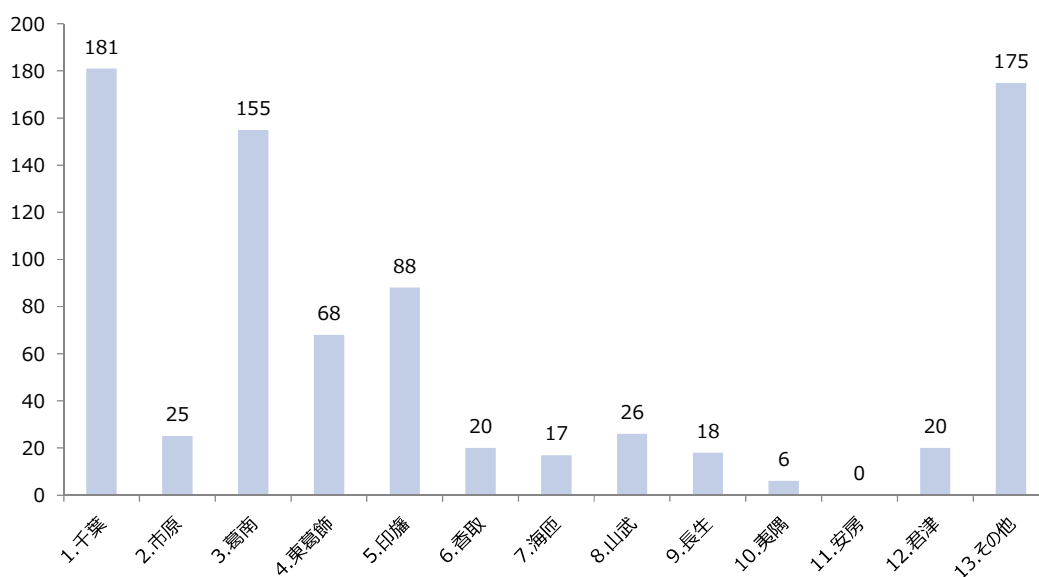
高校生の回答者を地域別に比較すると、印旛が139名と最も多く、次いで葛南地区115名、安房110名、となりました。

大学生等の回答者を地域別に比較すると、千葉市が181名と最も多く、次いで葛南地区が155名でした。また高校生と異なり其他地区が175名でした。なお、大学生等では安房地域の回答者がいなかったため、以下集計では安房地域を除いています。

<図表 高校生の地域別回答者数>



<図表 大学生等の地域別回答者数>

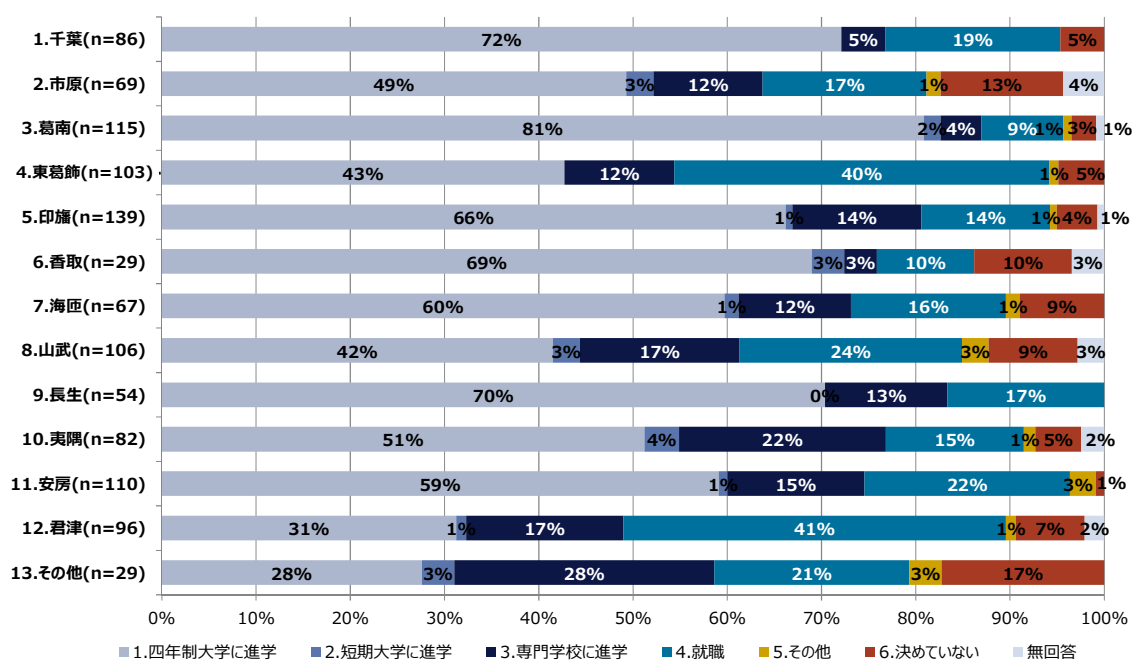


2) 進路に関する希望

地域別の進学に対する希望では、四年制大学への進学希望者は、葛南地区が81%と最も高く、次いで千葉市が72%、長生地区が70%でした。

他方、就職希望では君津地区が41%と最も高く、次いで東葛飾地区の40%でした。

<図表 高校生の地域別進学意向>



※なお本質問は高校生のみ回答しています。

また進学希望者（四年制大学・短期大学・専門学校への進学を希望）の地域別に進学先の地域を見ると、東葛飾地区、葛南地区、千葉市は東京（23区内）を希望している割合が高く（下記図表赤字参照）、特に東葛飾では約半数が希望しています。東葛地区、千葉市については四年制大学を希望する回答者の多い地域です。

上記以外の地域では千葉県内での進学を希望する方が最も多い、との結果となりました。

<図表 高校生の地域別進学希望の地域>

	1.千葉県内	2.東京都 (23区内)	3.東京都 (その他)	4.神奈川県 (横浜市・川崎市)	5.神奈川県 (その他)	6.埼玉県 (さいたま市・大宮・浦和)	7.埼玉県(その他)	8.北関東	9.その他	10.地域は決めていない
1.千葉 (n=66)	25.8%	34.8%	13.6%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	19.7%
2.市原 (n=44)	40.9%	29.5%	6.8%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%
3.葛南 (n=100)	31.0%	41.0%	9.0%	4.0%	2.0%	0.0%	1.0%	2.0%	1.0%	21.0%
4.東葛飾 (n=56)	16.1%	48.2%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	7.1%	16.1%
5.印旛 (n=112)	34.8%	28.6%	8.9%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	2.7%	22.3%
6.香取 (n=22)	40.9%	27.3%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%	9.1%	13.6%
7.海匠 (n=49)	36.7%	12.2%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	4.1%	36.7%
8.山武 (n=65)	58.5%	20.0%	10.8%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%
9.辰生 (n=45)	48.9%	24.4%	8.9%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	4.4%	0.0%	17.8%
10.夷隅 (n=63)	58.7%	17.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.6%
11.安房 (n=82)	46.3%	25.6%	6.1%	4.9%	1.2%	1.2%	0.0%	1.2%	3.7%	13.4%
12.君津 (n=47)	59.6%	21.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	14.9%
13.その他 (n=17)	23.5%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	35.3%

3) 就職に関する希望

① 高校生

高校生の就職に関する希望は、約半数の地区で医療・福祉が最も人気の高い職種となりました。

<図表 高校生の地域別就職に関する希望>

	第1位		第2位		第3位		16.わからない
1.千葉 (n=82)	13.医療・福祉	10%	14.教育	9%	4.メーカー	9%	29%
2.市原 (n=75)	13.医療・福祉	19%	14.教育	12%	9.学術研究、専門・技術サービス業	5%	17%
3.葛南 (n=56)	13.医療・福祉	9%	14.教育	7%	4.メーカー 5.情報通信業	7% 7%	32%
4.東葛飾 (n=110)	3.建設業	13%	10.旅行・観光・宿泊業	9%	14.教育	8%	19%
5.印旛 (n=97)	9.学術研究、専門・技術サービス業	12%	3.建設業	11%	14.教育	6%	34%
6.香取 (n=131)	13.医療・福祉	12%	1.官公庁・団体	11%	10.旅行・観光・宿泊業	7%	30%
7.海匝 (n=25)	14.教育	24%	13.医療・福祉	12%	1.官公庁・団体	8%	24%
8.山武 (n=60)	13.医療・福祉	22%	14.教育	8%	11.飲食・販売業	7%	25%
9.長生 (n=90)	14.教育	10%	11.飲食・販売業	9%	1.官公庁・団体	8%	23%
10.夷隅 (n=54)	13.医療・福祉	11%	5.情報通信業	7%	10.旅行・観光・宿泊業	7%	28%
11.安房 (n=106)	13.医療・福祉	24%	11.飲食・販売業	22%	9.学術研究、専門・技術サービス業	8%	16%
12.君津 (n=86)	9.学術研究、専門・技術サービス業	14%	11.飲食・販売業	9%	13.医療・福祉	9%	24%
13.その他 (n=23)	9.学術研究、専門・技術サービス業	17%	1.官公庁・団体	13%	11.飲食・販売業	9%	30%

※なお上記図表の赤字は、全体集計が1位の職種、青字は同2位の職種、黄字が同3位の職種をそれぞれ示しています。

次に就職の際に希望する勤務地を見ると、9 地区で千葉県内が最も高く、特に南房総の地区が千葉県内を希望する方が多い結果となりました。他方千葉市、市原市、東葛飾地区、印旛地区は、東京都を希望する方が多い地区でした。

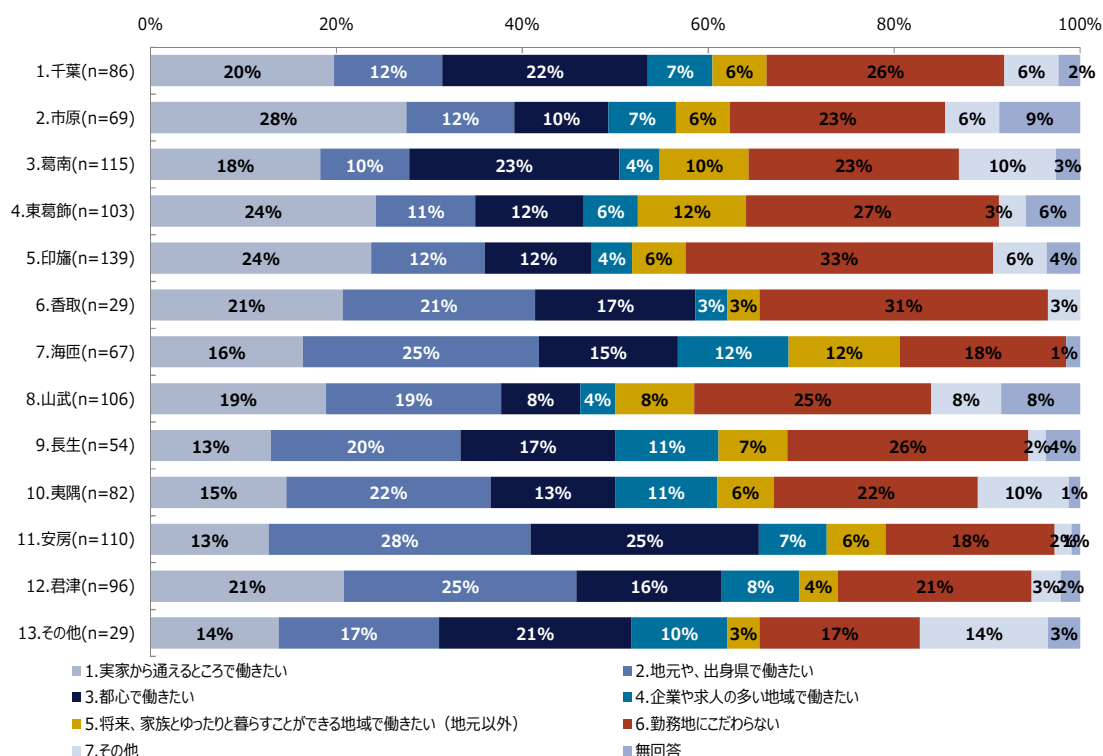
<図表 高校生の地域別就職の際に希望する勤務地>

	1.千葉県内	2.東京都 (23区内)	3.東京都 (その他)	南関東※	8.北関東	9.その他の地域	10.国外	11.こだわらない	12.わからない
1.千葉 (n=86)	23%	28%	0%	0%	0%	0%	2%	26%	19%
2.市原 (n=69)	23%	28%	0%	0%	0%	0%	2%	26%	19%
3.葛南 (n=115)	32%	12%	0%	1%	0%	3%	0%	20%	23%
4.東葛飾 (n=103)	19%	25%	2%	1%	0%	1%	2%	24%	23%
5.印旛 (n=139)	18%	23%	0%	0%	1%	1%	1%	25%	23%
6.香取 (n=29)	28%	13%	1%	0%	0%	0%	4%	24%	26%
7.海匠 (n=67)	48%	10%	3%	3%	0%	3%	0%	7%	24%
8.山武 (n=106)	33%	12%	0%	1%	0%	3%	1%	30%	19%
9.長生 (n=54)	41%	8%	0%	1%	0%	1%	1%	24%	18%
10.夷隅 (n=82)	33%	15%	2%	0%	0%	0%	4%	22%	19%
11.安房 (n=110)	46%	9%	0%	0%	0%	1%	0%	23%	20%
12.君津 (n=96)	37%	13%	5%	5%	0%	0%	2%	12%	21%
13.その他 (n=29)	33%	11%	2%	0%	0%	2%	3%	23%	21%

※神奈川、埼玉については件数が少なかったため南関東としてまとめて表示

また高校生の居住地別に就職先を決める際の勤務地に対する考え方では、都心で働きたい、との回答が高い地域は、安房地域、葛南地区、千葉市でいずれも20%以上でした。一方、実家から通えるところや地元や出身地で働きたい、との回答は、君津地区、香取地区、海匝地区、市原市が合計で40%以上と高く、地元志向の強い地域であると推察します。

＜図表 高校生の地域別就職先を決める際の勤務地に対する考え＞



②大学生等

大学生等では、全ての地域で教育が最も多く、ほとんど回答者が希望する結果でした。次いで医療・福祉、官公庁・団体となっています。回答者の所属している大学・短期大学の専攻や学部等に偏りがあったため、回答が集中した結果と考えられます。

＜図表 大学生等の地域別就職に関する希望＞

	第1位		第2位		第3位	
1.千葉 (n=181)	14.教育	35%	1.官公庁・団体	12%	4.メーカー	8%
2.市原 (n=25)	14.教育	76%	5.情報通信業 7.金融・保険業 9.学術研究、専門・技術サービス業 13.医療・福祉	4%	—	
3.葛南 (n=155)	14.教育	35%	13.医療・福祉	10%	4.メーカー	9%
4.東葛飾 (n=68)	14.教育	24%	4.メーカー 9.学術研究、専門・技術サービス業 11.飲食・販売業 13.医療・福祉	10%	—	
5.印旛 (n=88)	14.教育	76%	13.医療・福祉	6%	11.飲食・販売業	5%
6.香取 (n=20)	14.教育	75%	13.医療・福祉	15%	6.運輸業 12.商社	5%
7.海匝 (n=17)	14.教育	71%	13.医療・福祉	24%		
8.山武 (n=26)	14.教育	85%	13.医療・福祉	12%	1.官公庁・団体	4%
9.長生 (n=18)	14.教育	83%	13.医療・福祉	6%		
10.夷隅 (n=6)	14.教育	67%	13.医療・福祉	33%		
12.君津 (n=20)	14.教育	75%	1.官公庁・団体	10%	4.メーカー 7.金融・保険業 9.学術研究、専門・技術サービス業	5%
13.その他 (n=175)	14.教育	35%	13.医療・福祉	13%	9.学術研究、専門・技術サービス業	7%

※なお上記図表の赤字は、全体集計が1位の職種、青字は同2位の職種、黄字が同3位の職種をそれぞれ示しています。

次に就職の際に希望する勤務地を見ると、全ての地区で千葉県内が最も高く、特に南房総及び県内東部の地区では千葉県内を希望する方が極めて多い結果となりました。他方、葛南地区、東葛飾地区、千葉市は、東京都を希望する方が多い地区でした。

<図表 大学生等の地域別就職の際に希望する勤務地>

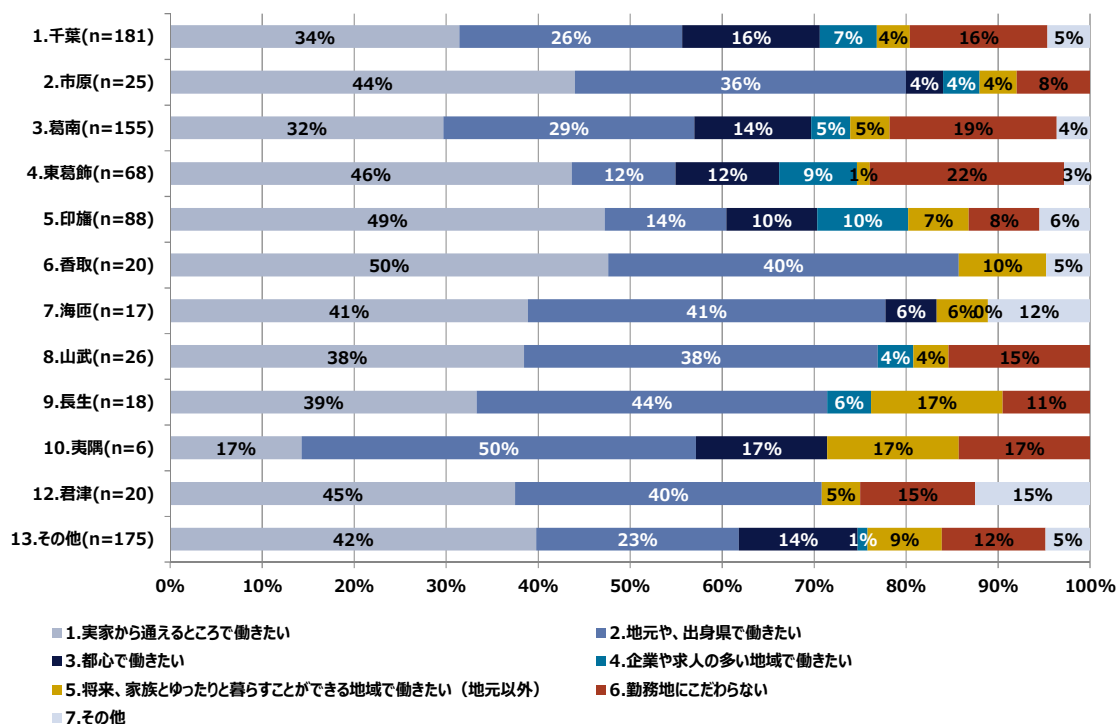
	1.千葉県内	2.東京都 (23区内)	3.東京都 (その他)	南関東 (神奈川・埼玉)	8.北関東 (茨城・栃木 ・群馬)	9.その他の 地域	10.国外	11.こだわらない	12.わからない
1.千葉 (n=181)	37%	25%	3%	2%	3%	12%	2%	14%	8%
2.市原 (n=25)	72%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	12%
3.葛南 (n=155)	45%	29%	3%	2%	2%	10%	0%	12%	8%
4.東葛飾 (n=68)	37%	29%	1%	3%	0%	1%	0%	18%	13%
5.印旛 (n=88)	69%	14%	2%	2%	2%	0%	0%	10%	10%
6.香取 (n=20)	90%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	10%
7.海匝 (n=17)	82%	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
8.山武 (n=26)	88%	4%	4%	0%	0%	0%	0%	8%	4%
9.長生 (n=18)	83%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%
10.夷隅 (n=6)	100%	17%	17%	33%	0%	0%	0%	0%	0%
12.君津 (n=20)	80%	5%	5%	0%	0%	5%	0%	15%	5%
13.その他 (n=175)	15%	46%	6%	10%	11%	2%	2%	9%	11%

※神奈川、埼玉については件数が少なかったため、南関東としてまとめて表示
また複数回答者の回答を全て参入したため、合計値が100%を超えているケースがある。

また、大学生等の居住地別に就職先を決める際の勤務地に対する考え方を見ると、実家から通えるところや地元や出身地で働きたいとの回答は、香取地区、君津地区、海匝地区、市原市、山武地区、長生地区が合計で70%以上と高く、地元志向の強い地域である可能性があります。

なお、都会で働きたいとの回答が高かった地域は、夷隅地区、千葉市、葛南地区、東葛飾地区、印旛地区でいずれも10%以上でした。

<図表 大学生等の地域別就職先を決める際の勤務地に対する考え>



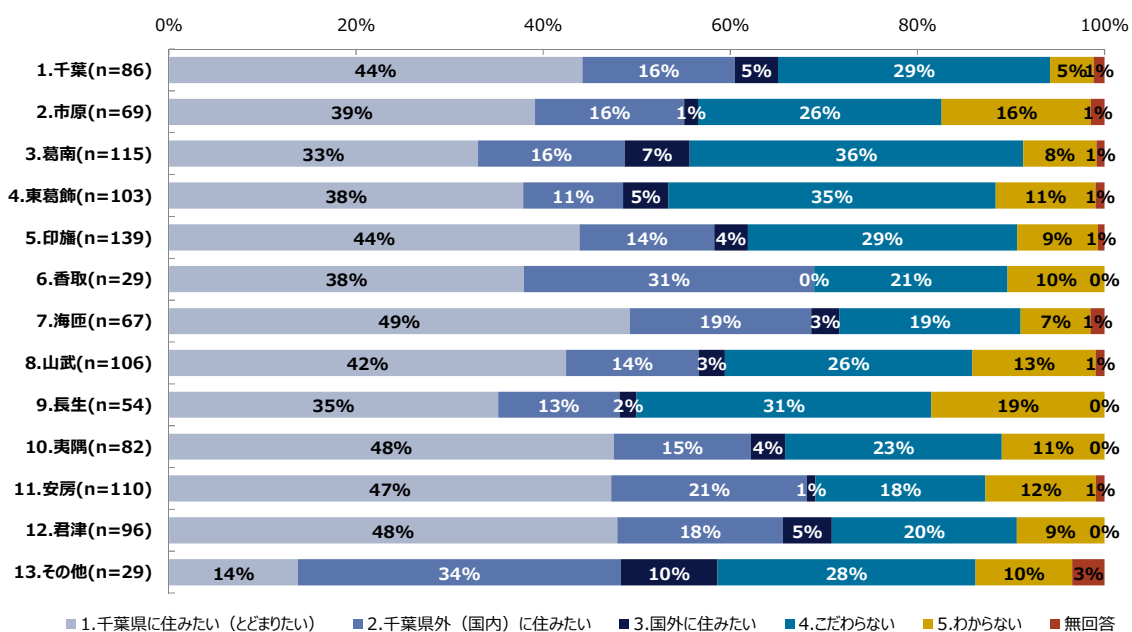
4) 将来の居住地に関する希望

①高校生

高校生の将来の居住地に対する希望では、千葉県内に住みたいとの回答は、海匝地区、夷隅地区、君津地区、安房地区、千葉市、印旛地区、山武地区が40%以上となっており、他方、千葉県外（国内）を希望する方の多い地域は、香取地区のみ30%を超えていました。また、こだわらない、わからないとの回答の合計がいずれの地区でも30%以上となっています。

なお、回答では、具体的に居住を希望する地区については、現在の居住地区を上げているものが多く、概ね半数程度の割合となっています。

<図表 高校生の地域別将来の居住地>

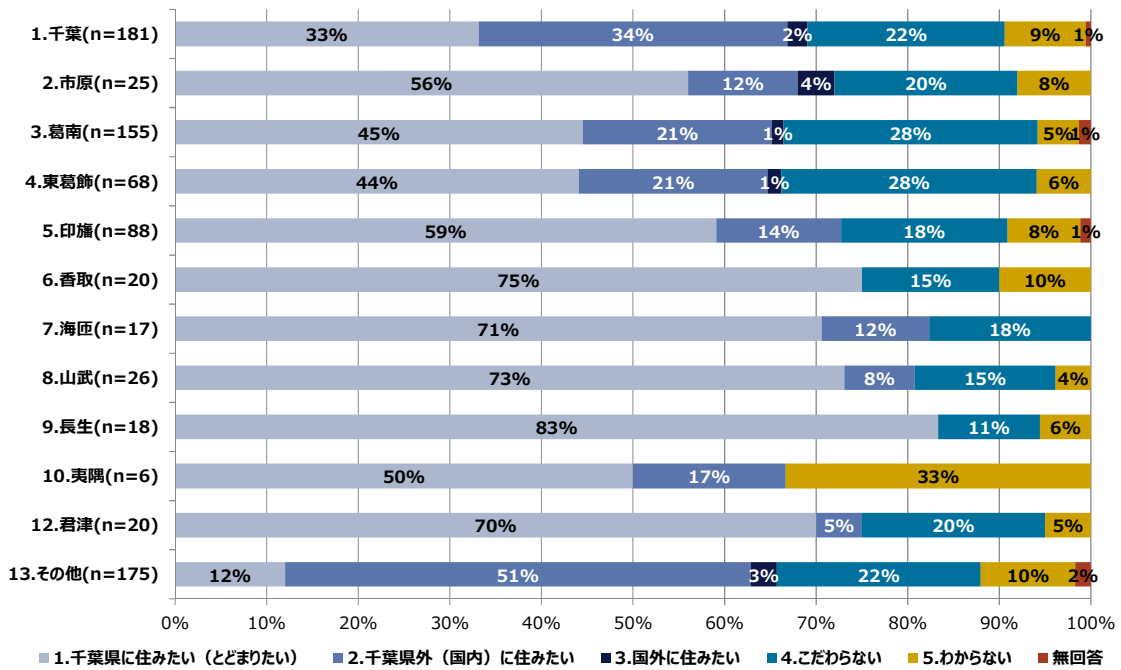


②大学生等

大学生等の将来の居住地に対する希望では、千葉県内に住みたいとの回答は、長生地区、香取地区、山武地区、海匝地区、及び君津地区で70%を超えており、他方、千葉県外（国内）を希望する方の多い地域は、千葉市、葛南地区、東葛飾地区で20%以上となっています。

なお、回答では、具体的に居住を希望する地区については、現在の居住地区を上げているものがほとんどでした。

＜図表 大学生等の地域別将来の居住地＞



以上